

人制度ヲ布キ販賣區域ヲ定ムルニ至ルヤ回送費ノ一部ハ政府負擔ト爲スコトニ改メ爾後漸次政府負擔ヲ増加シ大正二年十月ニハ回送費ノ全免ヲ決行シ總テ政府負擔ト爲シ鹽價ノ低減ト其ノ均一トハ茲ニ始テ實現スルニ至レリ

## 第一款 回送規程

鹽ハ需要ニ應シ各販賣官署ニ回送スルコトトナセルヲ以テ各地ノ收納ト各地ノ需要トヲ審ニスルノ要アリ毎月末ニ收納鹽及回送鹽ノ現在高ヲ調査報告セシメ且各販賣官署ヲシテ豫メ月別鹽賣渡見込高ヲ調査セシメ更ニ各月回送先官署ニハ鹽需要高發送元官署ニハ鹽回送高ヲ調査報告セシム本局ハ右調査ニ依リ全國ニ涉リ分配計畫ヲ樹テ發送元官署ニハ回送命令ヲ回送先官署ニハ配賦命令ヲ發シ發送元官署ニテハ之ニ依リ直ニ鹽回送計畫ヲ作成シ當該包裝鹽ノ收納ニ努メ逐次回送ヲ遂行スルコトトナセリ

鹽ノ回送ハ相當資産アリ且斯業ニ經驗アルモノヲ選定シ運搬請負人ト爲シ之ニ當ラシメ赤穂、味野、尾道、三田尻、坂出、撫養ノ六鹽回送株式會社ヲシテ從事セシメ本局ニ於テ契約ヲ締結シタリ尤モ支部局ニ於ケル管内回送ニ在リテハ承認ヲ受ケ支部局長限リ施行セシム

回送命令、運送請負契約、回送區間其ノ他回送ニ關スル手續ニ付テハ鹽回送規程アリ

鹽回送規程

明治四十五年四月  
丁第七九七號達

(鹽專賣史九五頁參看)

大正三年一月現行鹽ノ回送區間ハ左ノ如シ

鹽回送規程第一條ニ依リ鹽ノ回送區間ヲ左ノ通相定ム

大正二年六月  
甲第一二號達

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

回送先官署及引渡場所		發	送	元	官	署
浅	草	神戸、岡山、廣島、阪出、徳島				
浦	賀	阪出、徳島				
平		神戸、岡山				
甲	府	神戸、岡山、廣島				
直	江	神戸、廣島、三田尻、阪出				
新	湊	廣島、三田尻、阪出				
夷	本	廣島、三田尻				
松	野	神戸、岡山、廣島				
辰	山	神戸、岡山、廣島				
郡	臺	神戸、岡山、徳島				
仙	釜	神戸、岡山、阪出、徳島				
鹽	古	神戸、岡山、阪出、徳島				
宮	森	阪出、徳島				
青	戸	三田尻、阪出				
八	崎	廣島、三田尻、阪出				
土	田	廣島、三田尻				
酒	館	岡山、三田尻、阪出、徳島				
函	樽	岡山、三田尻、阪出、徳島				
小	路	岡山、三田尻、阪出、徳島				
釧	室	岡山、三田尻、阪出、徳島				
根	尻	神戸、岡山、廣島、阪出、徳島				
江						

島	熊	長	門	安	須	下	高	萩	三	三	菴	境	米	堺	大	福	敦	伏	金	高	四	名
		大	大	安	須	下	高	萩	三	三	菴	境	米	堺	大	福	敦	伏	金	高	四	岐
									田	津											日	古
原	本	崎	分	司	藝	崎	田	知	尻	菴	田	子	阪	井	賀	木	澤	山	市	阜	屋	
三田尻	岡山、三田尻、阪出	三田尻	阪出、福岡	岡山、三田尻、阪出	德島	德島	德島	德島	三田尻	三田尻	阪出	岡山、三田尻	岡山、三田尻	神戶、廣島	神戶、廣島、三田尻	岡山、廣島、三田尻、阪出	岡山、廣島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島、阪出、德島	神戶、岡山、廣島	神戶、岡山、廣島、阪出、德島	神戶、岡山、廣島、阪出、德島

鹽專賣

鹽ノ貯藏、回送

回送

回送先官署及引渡場所		發	送	元	官	署
鹿島	三田尻、阪出					
東 南 方	三田尻、阪出					
漆 根	三田尻、阪出					
阿 久	三田尻、阪出					
福 島	三田尻、阪出					
那 霸	三田尻、阪出					
宮 崎	三田尻、阪出					
細 島	阪出、福岡					

回送鹽ハ之ヲ販賣官署所在地ニ回送セルヲ以テ販賣官署ニ遠ク隔在セル地方ニ在リテハ多額ノ引取費ヲ要シ且又往  
 往逆送セルモノアリ鹽價ニ影響セルヲ以テ販賣官署所在地外主要消費地ニ引渡場所ヲ設定シ鹽買受人ノ請求ニ依リ鹽  
 ヲ回送シ同所ニテ引渡ヲ爲スコトニ便方ヲ開ケリ

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續 明治四十二年六月 丁第三七七〇號達

(鹽專賣史九三四頁參看)

大正三年一月現在回送鹽引渡場所ハ左ノ如シ

鹽 販 賣 官 署 名	引 渡 場 所
淺草專賣支局	神奈川縣三浦郡浦賀町
同	福島縣石城郡平町
同	山梨縣甲府市
仙臺專賣支局	岩手縣下閉伊郡宮古町

同青森出張所	青森縣三戸郡八戸町
高崎專賣支局松本出張所	長野縣上伊那郡伊那富村辰野
名古屋專賣支局	岐阜縣岐阜市
大阪專賣支局	大阪府堺市
岡山專賣支局米子出張所	鳥取縣西伯郡境町
同	島根縣那賀郡濱田町
三田尻專賣支局	山口縣阿武郡萩町
德島專賣支局高知出張所	高知縣幡多郡下田町
同	同 高岡郡須崎町
同	同 安藝郡安藝町
鹿兒島專賣支局	鹿兒島縣川邊郡東南方村
同	同 日置郡西市來村湊町

鹽ノ運搬ハ請負人ヲシテ實行セシムルコト前記ノ如シト雖汽車運送ニ對スル運賃ニ在リテハ直接專賣官署ニテ鐵道官署ニ仕拂フコトト爲シ其ノ取扱ニ付テハ鐵道當局ニ協議シ運賃ノ割引仕拂方等ヲ特定セリ

大正三年三月鹽回送規程ヲ改正シ回送區間ノ如キハ別ニ之ヲ定メス實狀ニ適應シ回送命令スルコトト爲シ同四月一日ヨリ施行シタリ

甲第一〇七六號長官達(大正三年三月二十三日)  
鹽回送規程

- 第一條 鹽ノ運送請負契約ハ本局ニ於テ締結スヘシ但シ左ノ場合ニ於テ現在ノ鹽運送請負契約中ニ追加スルヲ便トスル場合ヲ除クノ外當該支局ニ於テ之ヲ締結スヘシ
- 一 鹽運送請負契約ノ締結ナキ箇所ニ對シ臨時鹽ノ回送命令ヲ受ケタル場合
- 二 第六條第一項但書ノ場合

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

第二條 鹽運送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者タルコトヲ要ス

一 直接國稅二十圓以上ヲ納ムル者

二 運送業ニ三年以上從事シ尙引續キ現ニ從事スル者

第三條 鹽運送請負契約ハ毎年度之ヲ更新スルモノトス

第四條 發送元官署ハ本局ノ締結ニ係ル現行契約期間満了ノ日ヨリ少クトモ一箇月前ニ於テ第二條ノ資格ヲ有スル請負希望者ヨリ第一號様式ノ見積書ヲ徵シ意見ヲ附シテ之ヲ本局ニ提出スヘシ第一條但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 本局ニ於テ鹽運送請負人ヲ指定シタルトキハ發送元官署長ハ適當ト認ムル保證人ヲ立テシメ第二號書式ノ鹽運送請負書ヲ徵シ之ヲ本局ニ提出スヘシ

支局ニ於テ鹽運送請負人ヲ指定シタルトキ亦同シ但シ第一條第一號ノ場合ニ限り其ノ見積書ノ謄本ニ契約月日、期限及保證人ノ住所氏名ヲ附記シテ之ヲ本局ニ提出スヘシ

第六條 鹽ノ回送ハ本局ニ於テ之ヲ命令スヘシ但シ專賣支局、出張所、派出所及回送鹽引渡場所相互間ノ回送ニ付テハ鹽ノ供給上必要已ムヲ得スト認メラルル場合ニ限り當該支局長限り之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ發送元、回送先、回送シタル鹽ノ等級、包裝數量、運賃及回送ノ事由ヲ本局ニ報告スヘシ

回送先官署長ハ發送元官署長ト協議ノ上運送契約上支障ナキ限り回送先官署又ハ其ノ派出所若ハ回送鹽引渡場所ニ對スル配賦命令鹽ヲ相互間ニ於テ回送先ヲ變更スルコトヲ得其ノ回送先ヲ變更シタルトキハ其ノ旨本局ニ報告スヘシ

第七條 回送先及發送元官署長ハ第三號書式ニ依リ翌年度分月別鹽賣渡見込高表ヲ毎年二月十日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ回送先官署長ハ第四號書式ニ依リ翌月分鹽需要高表ヲ發送元官署長ハ第五號書式ニ依リ翌月分鹽回送高表ヲ毎月二十日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

第八條 鹽回送命令ヲ受ケタルトキハ發送元官署ハ命令ノ日付後五日以内ニ第六號書式ニ依リ鹽回送計畫表ヲ本局ニ提出シ同時ニ關係部分ニ對スル謄本ヲ回送先官署ニ送付スヘシ其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ第六條但書ノ場合又ハ鹽回送命令ニ對シ命令額全部ヲ命令ノ日付後五日以内ニ於テ即時ニ拂出ストキハ計畫表ノ調製ヲ要セス其ノ旨本局ニ報告スヘシ

第九條 鹽運送請負人ニ對シ運送ノ命令ヲ爲シタルトキハ回送費豫算執行決議簿當該欄ニ記入ノ上請負人ノ認印ヲ徵スヘシ

第十條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡ストキハ主任官吏立會ノ上請負人又ハ代理人ヲシテ現品ヲ調査セシメ回送費豫算執行決議簿ニ領收印ヲ徵スヘシ

前條及前項ノ場合ニ於テ豫算執行決議簿ノ備ナキ官署ニアリテハ之ニ準シタル帳簿ヲ調製シテ處理スヘシ

第十一條 運送請負人カ回送鹽ヲ船舶ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽ナルト否トヲ問ハス其ノ積載鹽ノ全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル後直ニ第七號書式ノ回送案内書ヲ回送先官署ニ送付スヘシ

運送請負人カ回送鹽ヲ貨車其ノ他陸運ヲ以テ輸送スル場合ニ於テハ一運送命令ノ鹽全部ヲ運送請負人ニ引渡シタル毎ニ若シ一運送命令ノ鹽ヲ二回以上ニ分割引渡ヲ爲ストキハ一回分ノ引渡ヲ了シタル都度前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 發送元官署ハ其ノ月中ニ運送請負人ニ引渡シタル回送鹽ノ數量ヲ第八號書式ニ依リ翌月五日迄ニ本局ニ報告スヘシ

第十三條 發送元官署ニ於テ鹽ノ收納、貯藏ノ不足其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ月中ニ回送ノ見込立タサルモノ又ハ回送スルコト能ハサルモノアルトキハ直ニ其ノ發送元、等級別數量、包裝ノ種類、箇數及回送不能ノ事由ヲ回送先官署ニ通報スルト同時ニ本局ニ報告スヘシ

前項ノ回送不能額ハ回送命令中ヨリ減額セラレタルモノトス

發送元官署ニ於テ第一項ノ回送不能額ヲ翌月分ノ回送命令高ニ變更スルノ必要アルトキハ其ノ旨稟申シ承認ヲ受クヘシ但シ天候其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲翌月ニ引渡ヲ要スル場合ニ限り當該支局長限り之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ發送元、回送先、回送シタル鹽ノ等級包裝數量及翌月引渡ノ事由ヲ本局ニ報告スヘシ

第二項ノ場合又ハ第三項ノ承認ヲ得サル場合ニ於テ運送請負人ニ對シテ既ニ運送命令ヲ發シタモノアルトキハ直ニ運送命令解除ノ通知ヲ發スヘシ其ノ他ノ場合ニアリテハ運送請負人ニ對シ先ノ運送命令ヲ履行セシムヘシ

第十四條 回送先官署ニ於テ回送鹽ノ引渡ヲ受クルトキハ運送請負人又ハ代理人ヲ立會セシメ亡失減耗シタルモノヲ除クノ外損傷シタルモノアルト否トヲ問ハス現品ヲ調査シ總テ受入ノ手續ヲ爲シ第九號書式ノ領收證ヲ發送元官署ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ運送請負人ノ請求アルトキハ鹽領收證ヲ交付スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ回送先官署ハ回送案内書ノ餘白ニ引渡月日若シ亡失減耗又ハ損傷ノ事實アリタルトキハ其ノ數量又引渡遲延ノ事實アリタルトキハ其ノ遲延日數及其ノ數量ヲ記入シ尙其ノ他ノ餘白又ハ補箋ニ依リ其ノ鹽ノ受入命令ヲ發スヘシ

第十五條 回送鹽ニシテ運送中亡失減耗損傷シタルモノ又ハ引渡豫定期間ヲ過キ引渡シタルモノアルトキハ回送先官署ハ第十號書式ニ依リ調査書ヲ作成シ且同時ニ運送請負人ヨリ事由書及證憑書類ヲ提出セシメ鹽運送請負書ノ定ムルトコロニ據リ責任ノ有無ヲ調査シ若シ其ノ責任ノ運送請負人ニ歸スヘキモノハ相當金額ヲ納付セシメ其ノ責ニ歸スヘカラサルモノハ其ノ旨ヲ告知スヘシ

前項ニ依リ運送請負人ヨリ提出スヘキ事由書及證憑書類ニシテ受入ノ際提出シ難キモノアル場合ニハ一定ノ期間内ニ之ヲ提出スヘキコトヲ命シ遲滞ナク其ノ調査決定ヲ了スヘシ若シ其ノ期間内ニ提出ヲ爲ササルトキハ適宜之ヲ決定シ其ノ旨運送請負人ニ

鹽專賣

鹽ノ貯藏、回送

回送

七八一

通知スヘシ

回送鹽發送ノ際運送請負人ニ於テ回送鹽ノ引取ヲ遅延シタルモノアリタルトキハ發送元官署ハ前二項ニ準シ處理スヘシ  
前三項ノ場合ニ於テ其ノ損害金額カ五百圓以上ナルトキハ調査書ハ關係書類ト共ニ之ヲ本局ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十六條 回送鹽ノ亡失減耗、損傷及引渡遅延シタルモノニ對シテハ一回送案内毎ニ又回送鹽ノ引取遅延ニ對シテハ一運送命令毎ニ一件トシテ處理スヘシ

前條及前項ニ依リ處理ヲ了シタルトキハ亡失減耗ノ數量、損傷ノ程度及數量、引渡遅延ノ數量及日數其ノ事由、運送請負人ノ賠償責任ノ有無等ヲ發送元官署ニ通知スヘシ

第十七條 回送鹽ノ亡失、減耗、損傷カ發送元附近ニ於テ生シ回送先官署ヨリ前ニ其ノ事實ヲ知りタルトキハ第十五條ノ手續ハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規程ヲ準用ス

第十八條 亡失減耗損傷、引渡及引取遅延處分ノ事蹟ハ毎年度末ニ於テ第十一號書式ノ報告ヲ作成シ翌月五日限り之ヲ本局ニ提出スヘシ

(第一號書式)

鹽運賃見積書

發送元	回送先	直 接 費		間 接 費		手数料	引渡豫	備 考
		汽車路	陸路	倉出積込積替	荷揚屈ケ	運賃計	定期間	
		哩	里丁	毛	毛	毛	日	
		毛	毛	毛	毛	毛		何地マテ和船 何地積替等

右見積候也

年 月 日

營業所在地

氏 名(何會社長又ハ代表者)印

專賣局長官宛



備考

- 一 本見積價格ハ鹽百斤當トス
- 二 陸路ノミノ箇所ニ於ケル中繼費ハ直接費陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 三 鐵道院ヨリ汽車賃割引ノ承認ヲ得タルモノニアリテハ其ノ割引額ヲ備考ニ記載スヘシ
- 四 到達豫定期間ハ船車渡ノ分ト倉庫渡ノ分トニ區分記載スヘシ

(第一號書式)

鹽運送請負書

今般別紙見積書ニ記載セル區間ニ回送セラルル鹽ノ運送方大正何年何月何日ヨリ何年何月何日迄弊社(御命令相成候ニ付テハ左ノ各條確守履行可致候

第一條 回送鹽ハ別紙見積書記載ノ運賃ヲ以テ引渡豫定期間内ニ回送先ニ引渡可申候但シ發送元ニ於テ倉出ヲ要セサル場合又ハ

回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ見積書記載ノ金額中倉出費又ハ荷揚倉入費(荷揚後倉入前引渡ノ場合ハ倉入費丈)ヲ不申受候

別紙見積書記載ノ運賃カ回送時期ニ依リテ異ル場合ニハ鹽運送命令アリタル當時ノ請負金額ニ依ルヘク又引渡豫定期間ハ其ノ現品引取終了ノ翌日ヨリ起算可致候

運賃中汽車輸送ニ對スル運賃ノ直接費ハ御局ニ於テ直接鐵道院ニ仕拂可相成コト承諾仕候

第二條 運送命令ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ引取可申若シ命令ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ引取ラサルトキハ弊社若ハ弊社使用人ノ故意過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外其ノ期間ノ末日カ休日ナルト否トニ拘ラス其ノ翌日ヨリ起算シ現品引取終了ノ日若ハ運送御命令解除ノ日迄ノ日數ニ對シ一日毎ニ鹽千斤ニ付金八厘ノ割合ヲ以テ計算シタル懈怠金ヲ發送元官署ノ御指定ノ期日迄ニ納付可仕候但シ一運送命令ニ對スル懈怠金額十錢未満ノトキハ御免除可被下候

前項ノ引取ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ發送元官署ニ御届可致候

第三條 鹽ノ荷揚引渡方ニ付テハ回送先ニ支店、代理店又ハ代理人ヲ常置シ豫メ其ノ氏名ヲ發送元及回送先官署ニ御届可致候

第四條 運送ニ要スル運送具及假貯藏場等ハ御指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送品ニ充分ノ注意ヲ加ヘ鄭重ニ取扱可致ハ勿論船送ニ於テハ豫テ船線上ニ注意シ天災其ノ他ノ事變ニ依リ絕對ニ配給不可能ノ場合ノ外船線ノ故障ヲ以テ引取、發送又ハ引渡ノ遅延ヲ來ス間數又汽車送ニ於テハ現品引取後遲滞ナク發送驛ニ對シ相當貨車ノ配給ヲ請求シ配給ヲ受ケタルトキハ相當注意ノ上積込托送可致候

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

第五條 鹽ノ引取後引渡豫定期間内ニ於テ鹽ノ亡失減耗損傷等有之候節ハ弊社若ハ弊社使用人ノ故意過失ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ又正當ノ事由ナクシテ引渡豫定期間ヲ經過シ其ノ後ニ於テ同上ノ事實有之候節ハ引渡豫定期間内ニ引渡ヲ了スルモ尙同一損害ノ生スヘキコトヲ疏明シタル場合ノ外原因ノ如何ヲ問ハズ弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ御指定ノ期日迄ニ左記ノ通辨償可致候但シ弊社ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因ル鹽ノ亡失減耗ト鹽ノ運送ニ依リ通常生スヘキ減耗ト併發シタルトキハ通常減耗ニ付テモ亦其ノ責ニ任スヘク候

一 鹽ノ亡失減耗ノ場合ニ於テ

イ 御局ニ於テ其ノ鹽ノ減失ノ事實ヲ確認セラレタル場合ハ運送命令アリタル當時ノ鹽賠償價格及一旦回送シタル鹽ニアリ

テハ百斤ニ付金二十一錢五厘

ロ 前項以外ノ亡失減耗ノ場合ハ一旦回送シタル鹽ト否トニ拘ラス其ノ鹽ノ引渡豫定期間ノ末日ニ於ケル政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格

二 鹽ノ損傷ノ場合ハ運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ヨリ御局ニ於テ適當ト認メラレタル損傷鹽ノ原價ヲ控除シタル金額

三 包装ノ損傷ノ場合ハ回送先ニ於テ御局カ其ノ補修又ハ更裝ニ要スト認メラレタル費額

第六條 前條鹽ノ亡失減耗損傷等ノ場合ニ於テ弊社若ハ弊社使用人以外ノ者カ弊社ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任スヘキ場合ハ御局ニ於テ弊社ニ代リテ適宜御處理相成候共聊カ異議中間敷候

第七條 引渡豫定期間ヲ經過シタル後回送先官署ニ鹽ヲ引渡ヲ爲シタルトキハ弊社、弊社使用人若ハ船長其ノ他ノ船員ノ故意過失

ニ因ラサルコトヲ立證シタル場合ノ外弊社ニ於テ一切其ノ責ニ任シ其ノ引渡豫定期間ノ末日カ休日ナルト否トニ拘ラス其ノ翌

日ヨリ起算シ引渡ヲ爲シタル日迄ノ日數ニ對シ一日毎ニ鹽千斤ニ付金八厘ノ割合ヲ以テ計算シタル懈怠金ヲ回送先官署ノ御指定ノ期日迄ニ納付可致候但シ一回送案内書ニ對スル懈怠金額十錢未滿ナルトキハ御免除可被下候

第八條 第五條ノ場合ニ於テ亡失減耗鹽ニ對スル運賃ハ一切請求致間敷ハ勿論御局ニ於テ其ノ運賃ヲ第一條第三項ニ依リ鐵道院

ニ支拂相成タルトキハ之ニ相當スル金額ヲ御指定ノ期日迄ニ御局ニ納付可仕候但シ御局カ鹽ノ運送ニ依リ通常生スト認メラレ

タル減耗ニシテ他ノ亡失及減耗ト併發セサル場合ニ限り其ノ通常減耗ニ對スル運賃ハ請求可致候

第九條 運送請負中運賃ノ割増ヲ請求スルハ左ノ場合ニ限り其ノ時々見積書ヲ差出可申其ノ他ハ何等ノ事故有之トモ決シテ割増

請求不致候

一 運送通路ノ破損、修繕等ニ因リ故障ヲ生シタルトキ

二 見積書ニ記載スル引渡豫定期間以内ニ特ニ速達ヲ命セラレ其ノ指定期間内ニ引渡ヲ了シタルトキ  
三 前二號ノ外直接費及間接費中官公廳ニ納付スヘキ金額又ハ鐵道賃率等ノ變更其ノ他相當ノ理由アルコトヲ疏明シ御局ニ於  
テ其ノ事實ヲ確認セラレタルトキ

第十條 運送通路ノ新設、改修、運賃率變更及其ノ他ノ事由ニ因リ運賃ニ減額ヲ生スヘキ場合ハ直ニ見積金額ヲ相當訂正可致候

第十一條 同一區間ニ二以上ノ經路御契約アルモノハ特ニ御指定アルトキノ外ハ常ニ運賃ノ低額ナル經路ニ依リ運送可仕萬一其ノ經路ニ依リ難キ場合ハ發送元官署ノ御承認ヲ受ケ運送可仕一經路契約ノ場合ニ其ノ經路ニ依リ難キトキハ亦同様御承認可相受候

運送ハ見積書記載ノ方法ニ依ルヘク萬一其ノ方法ヲ變更スル必要有之候節ハ發送元官署ノ御承認可相受候

第十二條 運賃ハ回送案内書一通毎ニ厘位切捨請求可致候

第十三條 運送請負ヲ廢止セムトスルトキハ少クとも六十日以前ニ申出御認可ヲ可受候

第十四條 亡失、減耗、損傷又ハ引渡遲延ニ關スル事由書及證憑書類ハ回送應引渡ノ際回送先官署ニ引取遲延ニ關スル事由書及證憑書類ハ回送應引取ノ際發送元官署ニ提出可致若シ回送應ノ引渡引取ノ際提出シ難キ場合ニハ御指定ノ期日迄ニ必ス提出可致候但シ亡失、減耗及損傷ニ關シ發送元官署ニ於テ御處理相成ル場合ニハ其ノ事由書及證憑書類ハ發送元官署ノ御指定ノ期日迄ニ提出可致候

前項ノ書類ヲ御指定ノ期日迄ニ提出セサルトキハ御局ニ於テ適宜御決定相成候共聊カ異議申間敷候

第十五條 鹽運送ニ關スル一切ノ帳簿書類及收支計算等ハ御局ノ必要ニ應シ何時ニテモ検査相成不苦候

第十六條 前各條ニ違背候節ハ之ニ因テ生シタル損害ヲ賠償スヘキハ勿論其ノ他御局ノ御都合ニ依リ何時本請負及本請負ニ基キ發セラレタル運送命令ノ全部又ハ一部解除ノ義御通牒相成候共聊カ異議申間敷候又此ノ場合ニ因リ生スル弊社ノ損害ニ付テハ何等請求不致候

年 月 日

住 所

運送請負人何會社長又ハ代表者印

住 所

保證人 何 某 印

專賣局長官宛

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

七八五

(第三號書式)

年度月別鹽賣渡見込高表(千斤單位)

七八六

何支局(何出張所)

總計	何月	四月	月別	
			一 等	二 等
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計
			八 十 四 斤	八 十 四 斤
			二 十 斤	二 十 斤
			計	計

備考

- 一 本表ハ從來ノ實蹟ハ勿論將來賣行ノ増減其ノ他一般需要ノ状態等ヲ勘案シ努メテ的確ナル見込ヲ立テ遺漏ナキヲ期スルヲ要ス
- 二 二箇以上ノ販賣官署共同シテ同一販賣區域ヲ有スル場合ニ在リテハ關係官署協議ノ上其ノ調査區域ヲ區分シ賣渡數量ノ重複スルコトナキヲ期スヘシ

三 販賣區域内ニ於ケル收納鹽賣渡見込ノ分並派出所及回送鹽引渡場所ニ於テ回送鹽賣渡見込ノ分ハ本表ニ準シ別紙ニ調製スヘシ

四 販賣區域内ニ於ケル臺灣鹽及關東州鹽等ノ需要見込高ニ付テモ本表ニ準シ別紙ニ調製スヘシ

(第四號書式)

用紙縦五寸五分  
横八寸綴代トシテ左側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

何月分鹽需要高表 (何月分トアルハ本表ヲ提出ス  
ハ翌月ヲ指示スルモノトス)

何月何日提出

何事實業局長(何出張所長)

等級	包裝種類	翌月中賣渡見込高 千斤	本月末現在見込高 千斤	差引翌月回送所要高 千斤	備	考
合計						

備考

一 本表ハ一販賣區域内回送先所ノ異ル毎ニ之ヲ別表ニ調製スヘシ

二 「本月末現在見込高」中包裝汚損其ノ他損傷等ノ爲其ノ儘賣渡ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ數量ハ當該相當欄ニ内書朱書スヘシ

三 備荒用散鹽數量ハ本月末現在見込高ニ依リ備考欄ニ之ヲ掲記シ其ノ事實拂出シ得ヘキ等級別數量ヲ内書スルモノトス

(第五號書式)

用紙縦五寸五分  
横八寸綴代トシテ左側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

何月分鹽回送高表 (何月分トアルハ本表ヲ提出ス  
ハ翌月ヲ指示スルモノトス)

何月何日提出

何事實業局長

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送





五 本書式ノ用紙ハ葉書ヲ使用スルコトヲ得

(第八號書式)

用紙縦五分  
横八寸綴代トシテ左側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

何月分圖回送拂出高表

何月何日提出

何專賣支局

發	送	元	回	送	先	等	級	包	裝	種	類	引	渡	數	量	引	渡	月	日	引	渡	豫	定	月	日	備	考

備考

一 本書ハ回送案内書ノ原符ニ依リ調製シ同案内番號順ニ記載スヘシ但シ引渡豫定月日ハ回送計畫表ニ依リ記載スルモノトス

二 第八條但書後段ニ依リタルモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

三 第七號書式備考二並三ハ本書式ニ準用ス

四 引渡數量ハ回送先ノ異ル毎ニ小計ヲ附シ尙其ノ合計ニハ等級包裝別ニ其ノ内譯ヲ附スヘシ

(第九號書式)

用紙縦二寸八分  
横八寸綴代トシテ左側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

鹽 領 收 證

番號 年 月 日 何專賣支局(何出張所)物品會計官吏官氏名印

何專賣支局(何出張所)物品會計官吏官氏名宛





備考

一 本書ハ回送鹽到達ノ都度作成スヘシ  
(第十號書式ノ二)

回送鹽亡失減耗調査書

何專賣支局(何出張所)

七九二

被害發生ノ日時場所及原因	回送	案內	案內番號	發送元(回送先)等	級	包裝種類	數	量	亡失減耗數	量	辨	價	金	運送請負人	認印	備考

備考

一 第十號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス  
(第十號書式ノ三)

回送鹽引渡遅延調査書

年 月 日

何專賣支局(何出張所)

發送元	回送	案內	案內番號	發送元(回送先)等	級	包裝種類	數	量	斤	遲延數	月	日	遲延數	懈怠金	遲延事由	認印	運送請負人

備考



免除									
〃									
〃									
小計									
計									
調査處分未済									
調査中									

備考

一 本報告ハ發送元(回送先)支局別ニ當該年度内ニ處分シタルモノノ集計ヲ掲記スルモノトス但シ調査濟處分未済ノモノハ處分濟ノモノニ準シ夫々當該欄ニ記入シ調査中ノモノハ其ノ數量及件數ヲ發送元(回送先)支局別ニ區分記載シ件數ハ備考欄ニ掲記スヘシ

(第十一號書式ノ二)

何年度回送鹽亡失減耗ニ對スル賠償處分事蹟報告

年 月 日提出

何專賣支局

徵收									
區分									
發送元									
亡失減量									
辨償金額									
運送請負人									
備考									



免 除	〃	〃	小 計	計	調査處分未済	調 査 中

備考

一 第十一號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

(第十一號書式ノ四)

何年度回送鹽引取遅延處分事蹟報告書

年 月 日提出

何專賣支局

免 除	小 計	〃	〃	徵 收	區 分	回 送 元	引 取 遅 延 數 量	最 長 遅 延 日 數	懈 怠 金 額	件 數	運 送 請 負 人 氏 名	備 考

〃	〃	小計	調査處分未済	調査中																
---	---	----	--------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

備考

一 第十一號書式ノ一備考ハ本書式ニ準用ス

回送計畫ノ資料ヲ爲セル收納鹽現在高報告及回送鹽現在高報告ハ其ノ報告期ヲ毎月十五日及月末ノ二回ニ改メ其ノ様式ヲ左ノ如ク改正ス

甲第一〇二八號長官達(大正三年三月二十三日)

收納鹽現在高報告及回送鹽現在高報告様式ヲ左ノ通改正シ大正三年度分ヨリ之ヲ施行ス

收納鹽現在高報告(月 日現在) (用紙葉書)

事業部宛

何專賣支局

等	等級	現在高	回送見込高
計	等	千斤	千斤
一	等		
二	等		
三	等		
四	等		
五	等		

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

備考	
----	--

備考

- 一 本表ハ毎月十五日及月末毎ニ夫々五日以内ニ必發送スルモノトス
- 二 現在高ハ鹽出納簿現在高ニ不拘事實倉庫ニ現在スル數量ニ依ル但シ賣渡濟又ハ運送人ニ引渡濟ノ鹽ニシテ一時倉庫ニ現存シアルモノハ之ヲ控除スルモノトス

- 三 回送見込高ハ現在高ニ收納見込高ヲ加ヘタルモノヨリ賣渡見込高ト回送命令中ノ拂出見込高トヲ控除シタルモノニ依ル但シ收納、賣渡及回送拂出見込高ハ十五日現在報告ニ在リテハ爾後其ノ月中分、月末現在報告ニ在リテハ翌月中分ノ見込數量ニ依リ計算スルモノトス

- 四 備考欄ニハ備荒用散鹽現在高ヲ外書シ其ノ事實拂出シ得ヘキ等級別數量ヲ内書スルモノトス
- 五 回送案内ヲ發シタル數量中本表調製ノ當日迄ニ現品ノ到達領收證ヲ受領シタル數量ヲ控除シタル殘額ハ之ヲ等級別ニ區分シ回送中數量トシテ備考欄ニ記入スルモノトス

回送鹽現在高報告（月 日現在）（用紙葉書）  
 事業部宛 何專賣支局（又ハ何出張所）

備考	販賣官署派出所及引渡場所名	等	級	現	在	高	月末現在見込高
						千斤	千斤



備考

- 一 本表ハ毎月十五日及月末毎ニ夫々五日以内ニ本局到達ノ日取ヲ以テ報告スルモノトス
- 二 現在高中賣渡濟ナルモ引取未済ノ爲一時倉庫ニ現存シアルモノハ之ヲ控除スルモノトス
- 三 月末現在見込高ハ現在高ニ配賦命令中ノ受入見込高ヲ加ヘタルモノヨリ賣渡見込高ヲ控除シタルモノニ依ル但シ賣渡見込高ハ十五日現在報告ニ在リテハ爾後其ノ月中分、月末現在報告ニ在リテハ翌月中分ノ見込數量ニ依リ計算スルモノトス
- 四 備考欄ニハ備荒用散鹽現在高ヲ外書シ其ノ事實拂出シ得ヘキ等級別數量ヲ内書スルモノトス

大正三年度分汽車回送鹽特約取扱方ハ左記鐵道院達ノ通協定ス以下毎年各年度分ニ付協定セルモ一々記述セス

鐵道院達第二八〇號對東京、神戸、九州管理局(大正三年三月)

專賣局食鹽運送請負者託送ニ係ル貸切取扱食鹽運送方左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

- 一 運送請負者左ノ通
  - 赤 德鹽回送株式會社
  - 味 野鹽回送株式會社
  - 尾 道鹽回送株式會社
  - 三田尻鹽回送株式會社
  - 阪 出鹽回送株式會社
  - 撫 養鹽回送株式會社
- 二 發著驛及運賃左ノ通
  - 割引運賃ニ依ル驛(院線内一噸ニ付)

驛名	發驛會根	會根	飾	磨	那	波	宇	野	笠	岡	松	永	尾	道	糸	崎	柳	井	津	下	松	福	川	三	田	尻	櫻	安	治	川	口
江尻	二九八	二六二	二六九	三〇一	三〇六	三一七	三〇一	三〇六	三〇八	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六
名古屋	二九八	二四七	二九七	二九二	三〇八	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六	三〇六

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

著	發	會	磨	那	宇	笠	松	尾	糸	柳	下	福	三	安
驛	驛	根	磨	波	野	岡	永	道	崎	井	松	川	田	治
山陽	山陽													川口
四日市	二、一〇一	二、一〇〇	二、一〇二	二、五二	二、四七	二、六三	二、五五	二、六一						櫻
敦賀	二、〇二二	二、一一一	二、二二四	二、九八	二、四七	二、六二	二、六八	二、七三	三、〇七	三、〇七	三、一一	三、一八	三、三八	島
金ヶ崎	二、〇四	二、一三	二、二五	三、〇〇	二、四八	二、六三	二、六九	二、七四	三、〇八	三、〇八	三、一三	三、一九	三、三九	
福井	二、四八	二、五九	二、七〇		二、八四	二、九八	三、〇四	三、一〇	三、一〇	三、七七	三、九四	四、〇二	四、一三	
伏木	二、九九	三、〇九	三、一九		三、二六	三、三九	三、四五	三、五〇	三、五〇	三、八六	四、〇〇	四、〇八	四、一七	
米子	一、九三	一、九二	二、〇一	二、六三	二、七〇	二、八六	二、九二	二、九七						
境(山陰)	二、〇四	二、〇二	二、一一	二、七四	二、八一	二、九七	三、〇三	三、〇八	三、〇八					
新潟沼垂	二、八三	二、八九	二、九五	三、三五	三、四〇	三、五〇	三、五四	三、五八	四、一八	四、二九	四、二九	四、三五	四、四三	二、五四
直江津	二、六六	二、七〇	二、七五	三、〇二	三、〇七	三、一六	三、二一	三、二一	三、九〇	四、一八	四、二二	四、〇八	四、一七	二、四八
門司									三、九七					
長崎									一、八〇					
上熊本									一、七一					
熊本									二、〇九					
鹿兒島									二、八三					

規定運賃(特定運賃<sup>九場</sup>ニ依ル驛)

安治川口、櫻島、曾根(山陽)、飾磨、名古屋著。宇野發福井、伏木著。曾根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎發富山(北陸)金澤、岐阜、平、甲府著。安治川口、櫻島、曾根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎發郡山(東北)著。曾根(山陽)、飾磨、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎、柳井津、下松、福川、三田尻發松本、辰野著。柳井津、下松、福川、三田尻發米子、境(山陰)著。

三 貨車積載標準箇所ノ通  
 八十斤入 (又ハ、俵入) 一噸ニ付 二十箇  
 四十斤入 (同) 同 四十箇

二十斤入 (同) 著地ニ於ケル託送換

八十箇

本達食鹽積載貨車カ著驛(第一著驛)ニ到着セル後積荷ノ儘更ニ前記以外ノ他驛(第二著驛)ニ轉送ノ申込アリタルトキハ著驛ニ於テ差支ナキ限り之ニ應スヘシ但シ此ノ取扱ヲ爲スニ就テハ第一著驛ニ於テ一旦積載貨車ヲ開封シ掛員立會ノ上在中貨物ヲ點檢シ受荷主及新託送者ニ於テ之ニ異狀ナキコトヲ承認シ其ノ完全ナル引渡ナルコトヲ受荷主ニ於テ承諾スルト同時ニ第二著驛ニ於テ積載貨車ノ封鎖及車體ニ異狀ナキ限り鐵道ハ在中品ノ事故ニ關シ一切ノ責ヲ負ハサルヘキコトヲ新託送者ニ於テ承諾スルコトヲ要ス

五 運賃仕拂方法

運送請負者ノ仕拂フヘキ運賃ハ神戸、岡山、廣島、三田尻、阪出、徳島專賣支局長ニ於テ夫々一箇月毎ノ後拂トシ前月分ヲ翌月中ニ仕拂フヘキニ付關係管理局長ニ於テ之カ收受ノ手續ヲ爲スヘシ

六 期 間 自大正三年四月一日至同四年三月末日

七 注意事項

關係專賣支局(出張所、派出所ヲ含ム)ニ於テハ運送請負者ノ提出スル運送狀ニ官費ノ二字ヲ記載シ證印ヲ押捺スヘキニ付其ノ記載及證印アルモノノミニ對シ本達ノ取扱ヲ爲スモノトス  
發送驛ト發送元官署及運送請負者トノ關係左ノ通

發送驛 發送元官署

運送請負者

會 根 神戶專賣支局

飾 磨 同

赤穂鹽回送株式會社

那 波 同

宇 飾 野 磨 岡山專賣支局

味野鹽回送株式會社

笠 岡 同

大鹽出所	白濱出所	新濱出所	味野出所	山比出所	日田出所	山田出所	日野出所	日比出所	寄島出所
張	張	張	張	張	張	張	張	張	張
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

宇野 阪出專賣支局

尾道 廣島專賣支局

松永 同

糸崎 同

柳井津 三田尻專賣支局

下松 同

福川 同

神戸管理局ハ一箇月毎ニ發送噸數ヲ發著驛別ニ區別シ(同一驛ヨリニ專賣支局ノモノノ發送アリタルトキハ之ヲ區別シ)運輸局(貨物)ニ報告スヘシ

鹽回送計畫表ハ命令ノ異ル毎ニ調製スルコトトナレルモ便宜上回送先局所別ニ別紙ニ記載スルコトトシ尙引渡豫定日ハ可成一定ノ日附ヲ記入スルコトニ取扱方ヲ通牒セリ(大正三年四月甲第一五九四號通牒)

汽船積回送鹽ニシテ一回送先ニ對スル分ヲ四十萬斤未滿ニ分割シ數箇所ヨリ拂出スモノアリ爲ニ運送請負人ニテ積廻シ貯質ヲ要スルニ至レルヲ以テ成ルヘク一箇所ノ拂出高四十萬斤ヲ下ラサル様配賦方注意シタリ(大正三年三月甲

支局直轄	高松出張所	土庄出張所	林田出張所	宇多津出張所	託間出張所	多喜濱出張所	波止濱出張所	尾道出張所	瀬戸田出張所	伯方出張所	松永出張所	瀬戸田出張所	竹原出張所	伯方出張所	平井出張所	柳井出張所	下松出張所	福川出張所	支局直轄	撫養出張所	瀬戸出張所
------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

阪出鹽回送株式會社

尾道鹽回送株式會社

三田尻鹽回送株式會社

撫養鹽回送株式會社

第一四一五號通牒)

回送船舶ニ關シ左ノ通牒ヲナセリ

甲第一四四八號部長通牒(大正三年四月十三日)

商慣習上一般ニ認メラルル無資格船舶ノ使用、積載量ノ超過及定限航路外ノ逸出ハ爾今之ヲ認メ遭難ノ場合運送請負人ニ對シテハ敢テ其ノ責ヲ問ハサルコトニ御取扱相成タシ

回送經路ハ到達急ヲ要スルカ本局命令數量ノ關係上積取不可能ナルヘシト認メラルルカ或ハ又包裝ノ關係上回送中損傷減耗ヲ來ス程度多カルヘシト認メタル場合等ノ外ハ運賃割安ナル經路ニ依リ輸送スルコトニ指示シタリ(大正三年五月甲第二二二一四號通牒對廣島支局長)

支部局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正三年五月)

一三 損害鹽ノ處分決定ニ關スル件

回送鹽ノ亡失損傷其ノ他延著ニ關スル處分ハ運送請負人ノ責任ノ有無ヲ決定ナルヲ以テ速ニ其ノ手續ヲ了シ其ノ旨ヲ請負人ニ告知スヘキモノナルニ近來甚シク之カ決定ヲ遲延セル向アリ右ハ成ルヘク調査ヲ敏活ニシ苟モ之カ決定ヲ怠慢ニ付スルカ如キコトナキ様注意スヘシ

一四 鹽ノ分配計畫ニ關スル件

鹽ノ分配ニ付テハ需要ノ時期ヲ失セス且全國適當ニ按配スルコトヲ要ス而シテ右分配計畫ノ根基ハ一ニ鹽ノ需要高表及回送高表ニ依頼スルモノナルヲ以テ右兩表ノ記載事項ハ出來得ル限り精確ヲ期スヘキハ勿論之ニ依リ本局ノ回送及配賦命令ヲ受ケタルトキハ發送元ニ於テハ回送不能ヲ生セシメサルト同時ニ回送先ニ於テハ供給鹽ノ過不足ヲ生セサル様注意スヘシ

一五 上等鹽回送ニ關スル件

鹽ノ嗜好向上ニ伴ヒ上級鹽ノ要求ヲ増加シ從テ收納官署ニ對シ回送見込申報ナキ場合ニ於テモ之カ回送命令ヲ發スルコトアルヘシ此ノ場合ハ出來得ル限り當該鹽ノ收納ニ努メ回送不能ヲ生セサル様注意スヘシ

三五 運賃仕拂ニ關スル件

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

運賃仕拂ノ遅延ハ運送請負人下拂ノ滯滞トナリ其ノ結果備船ノ操縦ニ影響ヲ及ホスノミナラス立替拂ノ苦痛ハ他日運賃増加ノ原因トナルヘキモノナレハ回送先官署ヨリ發送スヘキ鹽ノ領收證ハ可成受入當日ニ於テシ發送元官署ニ於テハ出來得ル限り敏速ニ仕拂ヲ爲スコトヲ要ス又回送鹽ノ中繼地又ハ回送先ニ於ケル取扱代理人ノ取扱費支拂遅延モ亦同シク自然取扱費ヲ昂騰セシムルニ至ルヘク延テハ運賃ニ轉嫁セラルヘキニ依リ發送元官署ハ常ニ運送請負人ヲ督勵シテ遲滞ナク支拂ハシムルコトヲ要ス

船長其ノ他船員ノ故意過失ニ因ル回送鹽ノ損害ハ其ノ金額三百圓以上ノ場合ニハ本局ノ承認ヲ受ケ處理スルコトトナレルモ回送規程ノ改正ニ伴ヒ五百圓以上ニ變更セルモノナルコトヲ指示セリ(大正三年七月甲第二九八〇號指示對岡山支局長)

回送鹽ノ被害及引取遅延又ハ引渡遅延ノ場合ニ於ケル處理ニ關シ規程第十五條第四項ニ依リ提出スル關係書類ハ謄本ヲ以テスルコトニ通牒セリ(大正三年十月甲第三九八二號通牒)

回送鹽積載船ノ船長其ノ他船員ノ故意過失ニ依リ賠償責任アル場合ノ求償ニ關シ左ノ指示ヲ爲セリ

甲第四四七六號部長指示對阪出支局長(大正三年十二月九日)

回送鹽ノ船長船員ノ故意過失ニ因ル損害ノ賠償請求方法ニ二様アリ即一ハ運送請負書第六條ニ依リ運送請負人ニ代リ運送人(船舶所有者)ニ對シ直接求償スル場合ニシテ此ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ運送請負人ト運送人トノ間ニ特約アルトキハ其ノ特約ニ依ルヘク若何等ノ特約ナキトキハ商法第三百四十條又ハ第三百四十一條ニ依リ決定スヘキモノトス、二ハ民法第七百九條ニ依リ直接船長船員ニ對シ求償スル場合ニシテ此ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ損害ノ實額即乙說見込(政府カ元賣捌人ヘ賣渡價格)ノ金額ヲ請求スルモノニ有之候サレハ御照會ノ件ハ運送請負人ト運送人トノ間ニ損害賠償ノ契約アラハ第一ノ前段ニ依ルヘク特約ナケレハ後段ニ依ルヘク其ノ他ノ場合ハ第二ニ依ル義ト御了知相成リタシ

運送請負人カ回送鹽ノ引取ヲ遅延シタル場合ニ於ケル懈怠金ノ徵收ハ鹽買受人カ賣渡鹽ノ引取ヲ遅延シタル場合ニ於ケル保管料ノ徵收ト同シク不可抗力ノ原因ニ依リ引取ヲ爲ス能ハサル日數ニ對シテハ徵收セサルコトニ取扱方ヲ指シタリ(大正三年八月丙第三三五〇號指示對三田尻支局長)

回送鹽ノ共同海損ハ發送元官署ニテ處理シ總テ本局ノ承認ヲ經ルコトトナシタリ

甲第三〇三號部長通牒(大正四年二月十五日)

鹽ノ船舶輸送ノ場合ニ於テ共同海損發生シタル場合ハ發送元官署ニ於テ處理シ其ノ分擔金額ニ制限ナク本局ノ承認ヲ要スル義ト御了知相成度

汽車回送鹽ノ運送ニ關シ鐵道院ヨリ左記希望ノ申出アリ

- 一 夜間ノ積込ヲ爲スコト
  - 二 貨車ノ噸數ヲ選ハサルコト
  - 三 近距離(凡三百哩以内)ノ運送ニ對シテハ無蓋車ヲ使用シ得ルコト
  - 四 取卸ヲ迅速ニスルコト
  - 五 持込ノ正確ヲ期セラレタキコト
  - 六 貨車不足其ノ他運送上ノ都合ニヨリ鐵道ニテ送先ヲ指定スル場合ハ其ノ指定ニ依ラレタキコト
  - 七 毎年十月以降年末一般貨物輻輳ノ際一時ニ多量ヲ託送セス可成夏季閑散期ニ於テ送り越ヲ爲スヘキコト即チ年間ヲ通シテ可成平均ニ托送スルコト
- 左ノ回答ヲ爲セリ

甲第九六八號部長回答對鐵道院(大正四年三月三十日)

當局食鹽運送ノ儀ニ關シ貴局加藤副參事ヨリ御申越ノ條件ニ對シテハ左記ノ通御了知相成度候

- 一 第一及第四ハ御希望ノ通履行方運送請負人ニ指示シ御希望ニ添フ様可爲致
- 一 第二ハ一回送先ニ對シ同時ニ多量ノ回送ヲ爲スヘキ場合ハ貨車ノ噸數ヲ選フコトナキ様可爲致尤モ此ノ場合ト雖最終ノ一車丈ハ之カ積切りヲナシ得ヘキ當該貨車ノ配給ヲ得度尙豫テ御承諾ノ著地ニ於テ託送換ヲ爲スヘキ分及回送數量カ七噸又ハ八噸等ノ少量ナルトキハ之ニ適應スル貨車ノ配給方御配慮ヲ得タシ
- 一 第三無蓋貨車積込ハ有蓋貨車積込ニ比シ風雨又ハ外氣ニ觸ルルコト多クシテ自然量減ノ多キヲ致ス懸念モ有之御同意ニ躊躇致居候得共兎モ角當分ノ内二百哩以内ノ短距離ニ於テ試驗のニ右無蓋車ヲ使用スルコトトシ雨漏等ヨリ來ル損害又ハ自然量減程度

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

ノ如何ニ依リテハ直ニ有蓋車ニ復舊スヘキコトニ保留致置度

一 第五持込ハ成ルヘク正確ヲ期セシムヘキモ發送驛迄ノ運搬ハ多クハ舢舨ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ海上風波ノ如何ニ依リテハ時ニ齟齬ヲ來スコトアルヘキハ豫メ御了知置相成度

一 第六送先指定ノ件ハ指定箇所ニ對スル回送鹽ヲ驛ニ持込ミ居リテ他ニ特ニ急送ヲ要スルモノナキトキ又ハ在庫鹽ヲ直ニ拂出シ得ヘキ場合ハ御希望ニ應スル様可爲致モ回送先需給關係上時ニ急送ヲ要スルモノアル場合ハ特ニ御差繰ヲ得度

一 第七ハ回送先ニ於ケル貯鹽倉庫收容量ニ限度アルト殊ニ鹽ノ生産ハ時期ニヨリ異ルヲ以テ年間ヲ通シテ平均ニ託送スルコトハ不可能ナルヘキモ年末貨物輻輳期ノ需要鹽ハ回送先貯藏力ノ許ス限り可成夏季ニ於テ回送ヲ爲スコトニ努ムヘク  
(以上)

右取扱ニ關シ無蓋車ノ使用ニ在リテハ發送元官署ヘ覆布ノ使用等特ニ注意シ回送先官署ハ時々受入成績ヲ報告スルコトニ通牒セリ(大正四年三月甲第九六八號ノ二通牒)

時局ノ影響ニ依リ海運界好況ノ爲船線ニ困難ヲ來セルヨリ回送鹽ノ積取ニ關シ十州鹽回送株式會社聯合組合長ヨリ申請アリ左記事項ヲ承認セリ

甲第九一二號部長通牒(大正四年三月二十三日)

海運界目下ノ狀況ヨリスレハ今後益好況ヲ呈シ船舶操縦上困難ヲ來スヘキ虞アリトテ十州鹽回送株式會社聯合組合長ヨリ左記願出ニ依リ承認相成候條御了知相成度

一 回送先ニ對スル運送命令數量四十萬斤以上ニ對シ汽船ニテ輸送方御指示ノ場合船舶ノ操縦意ノ如クナラスシテ請負人ヨリ陸路汽車輸送方申請ノ場合ハ當初指示ノ經路ニ依リ契約運賃ノ支給ヲ條件トシテ經路ノ變更ヲ承認セラレタキコト

二 回送鹽ヲ發送元所在地港灣外ニ積廻シノ上積取ヲ爲スコトハ從來承認セラレ居ルモ本年ノ如キ年柄ニアリテハ一層神戸港等ニ積廻シヲ爲スニアラサレハ輸送ノ圓滿ヲ期シ難キ虞アリ依テ他港灣ニ積廻シノ増加ハ豫テ承認ヲ得タキコト

三 廣島管内鹽ノ淺草送等ヲ郵船會社ノ定期船ニ依リ輸送スル場合門司ニテ船腹ヲ奪ハルルヲ防ク爲或ハ積荷ノ都合上等ヨリ門司ヘ往航ノ途中回送鹽ノ積入レヲ爲シ門司ニ到リ逆行スルコトアルヘキヲ承認セラレタキコト

支部局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正四年四月)



一九 鹽ノ管内回送ニ關スル件

鹽ノ管内回送ハ支局長限リ施行シ得ルコトト爲シタル以來數次之ヲ實行シタル向アルモ右ハ徒ニ回送費ヲ損失スルノミナラス本局ノ回送計畫上ニモ支障アルヲ以テ今後ハ鹽ノ收納上倉間ヲ生シタル場合又ハ豫測スヘカラサル回送ノ遲延、回送不能若ハ鹽漁等ニ由リ供給鹽ノ缺乏シタル場合ヲ除クノ外ハ管内回送ハ之ヲ行ハサルコトニ注意スヘシ

二〇 鹽ノ運送監督ニ關スル件

鹽ノ運送監督ハ煙草ト同シク必要ニ應ジ之ヲ實行スルコトトシタルモ其ノ積込荷卸ニ付テハ特殊ノ支障ナキ限リ必現場監督ヲ爲シ若モ回送鹽ノ誤送又ハ損傷汚損等ナカラシムヘキハ勿論運送上必要ナル事項ニ付テハ常ニ周到ナル注意ヲ爲シ隨時ニ其ノ狀況ヲ詳具シテ本局ニ申報スヘシ

二一 鹽ノ產地ニ關スル件

回送鹽ノ配賦計畫ニ付テハ醬油釀造用ノ如キ特ニ特殊產地鹽ヲ供給スルノ必要ヲ生スル場合ヲ除クノ外ハ運賃割安ナル產地ヨリ回送ヲ要スヘキモノナルニ回送先ニテハ尙其ノ產地ヲ選擇スルノ向勘カラス今後ハ買受人ヲシテ斯ル要求ヲ爲サシメサルト同時ニ發送元ニ於テハ出來得ル限リ品質包裝ノ統一ヲ圖ルコトニ努ムヘシ

二二 回送鹽ノ運送經路ニ關スル件

海陸二途ノ運送經路契約アル箇所ニ對スル鹽ノ回送上運賃割高ノ經路ニ依リタル爲會計検査院ノ推問ヲ受ケタルコトアリ向後發送元ニ於テハ本局ノ回送命令數量少キカ又ハ運送特急ヲ要スル場合ヲ除クノ外ハ運賃割安ノ經路ニ依ルト同時ニ回送先ニ於テモ配賦鹽要求ノ際ハ運賃低廉ナルヘキ經路運送ニ適應スル數量ヲ申出ツヘキハ勿論買受人ヲシテ運送經路ヲ限定セシメサル様注意スヘシ

二三 備荒散鹽ノ配賦ニ關スル件

回送先ノ増設及下級鹽ノ減少ニ伴ヒ備荒散鹽ハ豫定通實行シ難キヲ以テ向後ハ主トシテ產地及不良港ニ於テスルヲ方針トスヘク從テ諸他ノ回送先ニ對シテハ之カ配賦鹽ヲ爲サルコトアルヘキニ依リ現在散鹽倉庫ニハ便宜臺、關鹽若ハ内地包裝鹽ヲ收容シテ倉庫經濟ヲ圖ルト同時ニ向後引續キ散鹽貯藏ヲ爲スノ向ニ在テハ成ルヘク冬季間ニ拂出シ得ヘキ相當時期ヲ見計ヒ之カ實行ヲ爲スコトニ注意スヘシ

船繰益困難ナルヨリ更ニ其ノ取扱ヲ緩和シタリ

甲第一三三三號ノ二部長通牒(大正四年五月六日)

本年三月二十三日附甲第九一二號ヲ以テ十州鹽回送株式會社聯合組合長申請ニ對シ依命通牒置候次第モ有之候處近來船繰益困難ノ

鹽ノ貯藏、回送 回送

越ヲ以テ更ニ申請ノ次第モ有之候ニ付右通牒第三ノ範圍ヲ擴張シ各回送先ニ對スル各發送元汽船積回送鹽ノ全部ニ涉リ時々逆航又ハ迂回ノ經路ニ依リ得ヘキコトニ特ニ承認相成候條御了知相成度追テ本文逆航又ハ迂回ヲ要スル場合ハ其ノ經路ヲ具シ發送元官署ニ届出ツヘキ様指示致置候條申添候

甲第一六九八號部長通牒(大正四年五月二十八日)

六月以後ノ回送鹽船積分運賃協約率ハ別途及通牒置候處目下海運界好況ノ折柄運送請負人ハ船舶操縱困難ノ故ヲ以テ之カ回送取扱ニ關シ申請スル所有之左記ノ通承認相成候條本趣旨ニ據リ御取扱可相成

一 鹽運送請負書第二條ニ依リ回送鹽引取猶豫期間五日ヲ本年度分汽船積回送鹽ニ限り七日ニ延長スルコト

二 毎月ノ命令鹽ニ對スル回送計畫ハ回送先ノ需給關係又ハ發送元官署ニ於ケル收納或ハ在庫等ノ關係ニ支障ナキ限り運送請負人ノ希望ヲ容レ船線ヲ容易ナラシムル様取扱フコト

三 鹽ノ運送命令ハ回送計畫ニ依リ運送請負人ニ豫告シタル引渡豫定日(計畫ヲ變更シタルモノハ變更豫告ノ引渡豫定日ニ依ルハ勿論ナリ)ノ當日ニ於テシ特ニ一兩日ヲ繰上ケ發令スルカ如キコトナキ様取扱フコト

四 三月二十三日甲第九一二號及五月二日甲第一三三三號通牒回送鹽ノ取扱ニ關スル件即チ回送鹽積載船ノ逆航、迂回又ハ艀積廻シノ經路等届出ハ必シモ書面ヲ需メス便宜請負人ノ口頭申述ヲ書留メ置クカ如クシ可成簡便ニ取扱フコト

五 廣島鹽ノ米子境送りハ一回ノ運送命令數量三十萬斤未滿ノ場合ハ引取遅延ノ懈怠金ヲ免除スルコトニ取扱フコト

右第一項ニ關シテハ一昨二十六日付甲第一六七九號通牒追書例示ノ請書中「六月以後ノ回送鹽ニ對シテハ」ノ下ニ「鹽運送請負書第二條ニヨリ回送鹽引取猶豫期間五日ヲ汽船積回送鹽ニ限り七日ニ改メ而シテ」ト挿入スルカ如ク適當ニ記入セシメラレタシ追テ本文第二乃至第四項ハ從來其ノ取扱ヲ爲シ來リタル向モ可有之被存候得共今般特ニ一般ニ通牒相成候義ニ付御了知相成度申添候

回送鹽ノ被害及引取並引渡遅延ニ關スル取扱方ニ付左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第一七三三號部長通牒(大正四年六月七日)

回送鹽ノ被害及引取並引渡遅延ニ關スル取扱方ニツキテハ爾今左ノ各項ニ依リ處理可相成

甲 一般ニ關スル事項

一 鹽ノ亡失、減耗、損傷及引取、引渡遅延調査書ハ現品ノ引取、引渡ノ際又全部亡失ノ場合ニアリテハ運送請負人ニ於テ其ノ事實ヲ申告シタル時ニ於テ之ヲ調製シ且同時ニ承認印ヲ徵スヘシ又同調査書ノ事故及被害事實ノ記載ハ凡テ運送請負人ノ陳述ノ儘ヲ掲記シ若シ運送請負人ニ於テ其ノ事故等不明ナル場合ニハ其ノ旨記載スルヲ以テ足ルモノトス

二 前號ノ調査書ハ苟モ回送鹽ニシテ被害及遲延ノ事實發生シタル以上ハ其ノ事故ノ運送請負人又ハ當該官署ニ存スルト其ノ他ノ事由ニ基因スルトヲ問ハス又其ノ金額ノ如何ニ拘ラス總テ之ヲ調製スルモノトス

三 回送鹽ノ被害及遲延ノ事實發生シタル場合ニハ當該官署ハ單ニ規程第十五條ニ依リ運送請負人ヨリ提出セル事由書及證憑書類ノミニ依ラス常ニ進ンテ事實ノ真相ヲ調査シ以テ處分決定ノ正鵠ヲ期スヘク又運送請負人ニ於テ調査書記載ノ外主張スヘキ事實ナク又證明ノ途ナシト明言セル場合ニハ直ニ之ヲ處分シ別ニ事由書、證憑書類等ヲ徵スルニ及ハサルモノトス尤モ右調査ノ結果運送請負人ノ責ニ歸スヘカラサルコト明白ナル以上ハ責任ヲ免除スルモ妨ナシ運送請負人以外ノ者ニ對スル場合亦同シ

三 損害賠償責任者ニシテ資力皆無ノ爲到底賠償ノ望ナク已ムヲ得ス特ニ免責處分ヲ爲サムトスル場合ニハ必相當官公署等ノ資力證明ヲ徵シ金額ノ如何ヲ問ハス本局ノ承認ヲ受クヘシ

四 回送規程第十五條ニ依リ提出セシムヘキ證憑書類中船長カ航海日誌又ハ其ノ謄本ニ依リ作成シタル證明書ニハ其ノ航海日誌ノ謄本若ハ抄本ヲ添附セシムヘク又商法第五編ノ規程ノ適用ヲ受クヘキ船舶(商法第五三八條)ニシテ法令上航海日誌ヲ備フヘキモノニ限リ(商法第五六二條、三十二年五月遞信省令第十九號)其ノ記載事項ハ事實ナリトノ一應ノ推定ヲ下スヘキモ積載船舶長ハ運送請負人ト等シク鹽ノ亡失、損傷及延著等ニ付立證ノ責任ヲ有スルモノナルニ依リ其ノ者ノ作成ニ係ル航海日誌ハ絕對ニ效力ヲ認ムヘキモノニアラサル故ニ其ノ記載事項ノ疑ハシキモノアル場合ニハ管海官廳其ノ他ノ官憲ニ問合ヲ爲シ其ノ記載事項ノ確實ナリヤ否ヤヲ決定スヘシ

五 回送規程第十五條第四項ニ依リ本局ニ提出スヘキ調査書類ノ他ノ關係書類ハ凡テ謄本ニ依リ且其ノ處分意見ヲ附スヘシ

六 運送請負人ニ賠償責任ナクシテ船長船員其ノ他ノ者(運送人ヲ含ム)ニ賠償責任アル場合ト雖回送規程第十五條第四項ニ依リ損害金額五百圓以上ナル場合ハ本局ノ承認ヲ受クヘシ

七 鹽ノ船舶輸送ノ場合ニ於テ共同海損發生シタル場合ハ發送元官署ニ於テ處理シ其ノ分擔金額ニ制限ナク本局ノ承認ヲ受クヘシ

八 回送鹽ノ亡失、減耗及損傷カ發送元附近ニ於テ生シタル場合ハ發送元官署ハ成ルヘク亡失、減耗鹽ニ付テハ之ヲ補充シ損傷鹽ニアリテハ損傷ナキ鹽ト引替ヘ發送ノ手續ヲ爲スヘシ

九 回送鹽ニシテ亡失、減耗シタル場合ニ於テ運送請負人ヨリ現品代償ヲ申出タル場合ニハ之ヲ許スモ差支ナシ此ノ場合ニ於テハ別ニ損害處分ノ手續ヲ要セス

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

十 鹽運送請負書第五條ニ所謂通常生スヘキ減耗トハ物ノ性質上免ルヘカラサル自然ノ減量ヲ謂フモノニシテ右ハ箇々ノ包裝ニツキ決定シ一運送ノ全體ヨリ觀察スルモノニアラス

十一 回送鹽ノ取扱上不可抗力トハ必シモ絶對ニ避クヘカラサル天災事變等ニ限ラス假令人爲ニ出テタル場合モ亦之ヲ含ムモノトス

十二 回送鹽カ運送人、船長、船員等ノ故意、過失ニ因リ損害ヲ生シタル場合ニ於テ運送請負書第六條ニ依リ運送請負人ニ代リ運送人(船舶所有者)ニ對シ損害ヲ求償スル場合ニ於ケル賠償金額ハ運送請負人ト運送人トノ間ニ特約アルトキハ其ノ特約ニ依ルヘク若何等ノ特約ナキトキハ商法第三百四十條又ハ第三百四十一條ニ依リ決定スヘキモノトス又以上ニ依リ難キ場合ハ民法第七百九條ニ依リ直接船長、船員ニ對シ損害ノ實額即チ政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格ヲ請求スルモノトス

十三 回送鹽ノ引取、引渡遲延懈怠金ノ算出上其ノ内容ニ厘位未滿ノ端數ヲ生シタル場合ト雖之ヲ切捨テ總金額ヲ算出シ明治四十年五月省議決定ニ依リ厘位ニ止ムヘキモノトス

十四 商慣習上一般ニ認メラレタル無資格船舶ノ使用、積載量ノ超過及定限航路外ノ逸出ハ之ヲ認メ遭難ノ場合ハ運送請負人ニ對シテハ敢テ其ノ責ヲ問ハサルモノトス

## 乙 引取ニ關スル事項

一 發送元官署ハ引取遲延ノ事實アリタルトキハ現品引取終了後直ニ其ノ處分ヲ了シ回送先官署ニ對シテハ別ニ之カ通知ヲ要セス

二 回送鹽ノ引取猶豫期間内ニ於ケル天候其ノ他ノ不可抗力ニ因リ引取不能ノ日數ハ之ヲ延長シテ其ノ責任ヲ免除シ(單ニ責任決定ノ便宜上延長シテ計算スルニ止マリ引取豫定期間ノ延長ニアラス)運送請負人カ引取ノ準備整頓シアリタルト否トヲ問ハサルモノトス

三 左ノ各項ニ該當スル場合ハ特ニ不可抗力ニ因リ引取不能ノ日ト看做シ其ノ責任ヲ免除ス

イ 運送請負人カ船積港ニ在ラサル船舶ニ對シ船積契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ船舶カ積合鹽又ハ石炭、食糧等航海ノ必需品其ノ他ノ物ヲ積取中ニ於テ不可抗力ニ遭遇シ爲ニ回航遲延シ引取豫定期間内ニ引取ヲ爲スコト能ハサリシ場合但シ此ノ場合ニ於テハ特ニ左記ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

(一) 運送契約成立シ引取豫定期間内ニ支障ナク引取り得ヘキ様船積港ニ回航スヘキ状態ニ在リタルコトノ確證アルコト(運送契約ノ爲往復シタル電信其ノ他ノ信書等)

(二) 不可抗力ノ爲引取期間内ニ回航シ能ハサリシコトノ證明アルコト

ロ 引取猶豫期間經過後ト雖請負人ヨリ引取り請求シタルニ政府ノ都合ニヨリ引渡ヲ爲ス能ハサル場合ハ請負人カ引取ヲ請

求シタル日ヨリ政府ノ引渡得ヘキ日迄ノ日數

ハ 運送請負人ニ於テ運送命令後遲滞ナク貨車ノ要求ヲ爲シタルモ其ノ配給ヲ得ラレサリシコトノ當該鐵道驛長其ノ他關係責任者ノ證明アリタル場合

四 運送請負人カ正當ノ事由ナクシテ引取猶豫期間ヲ經過シ其ノ後ニ至リ天災其ノ他ノ事變ニ遭遇シ之カ爲引取ヲ爲スコト能ハサリシ日アルモ之ヲ免除セス現ニ引取ヲ爲シタル日若ハ運送命令解除ノ通知ヲ發シタル日迄ノ懈怠金ヲ徵スヘキモノトス  
引渡ニ關スル事項

一 回送先官署ハ引渡遲延ノ事實アリタルトキハ發送元官署ノ引取遲延ノ有無ヲ問ハス遲滞ナク其ノ處分ヲ了シ回送規程第十  
六條二項ノ手續ヲ爲スヘシ

二 左ノ各項ニ該當スル場合ハ特ニ其ノ責任ヲ免除ス

イ 貨車ノ積替ヲ爲シタル爲延著ノ事實ヲ生シタル場合ニハ正當ノ事由ニ依リ積替ヲ爲シタルニ基因スルモノナルコトノ當該鐵道驛長其ノ他ノ關係責任者ノ證明アリタルトキ

ロ 回送命令鹽ノ積載ニ適應スヘキ貨車ノ配給ヲ要求シタルニ其ノ配給ヲ得ラレサリシ爲端數積殘鹽ヲ生シタルモノナルコトノ當該鐵道驛長其ノ他關係責任者ノ證明アリタルトキ

ハ 鐵道輸送中ノ事故ニ基因セル延著ハ假令鐵道業者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ基因スル場合ト雖積込驛ニ於ケル貨車配給ノ請求及積込ニ付遲延ナキコト及著車月日ノ證明アリ且運送ニ關シ荷送人ノ爲スヘキ一切ノ行爲ニ付請負人又ハ其ノ使用人ニ故意過失ナキコト(例ヘハ請負人ノ過失ニ因リ誤送シタルコトナキコト等)ノ相等心證ヲ得ラレタルトキ

ニ 神戸港ニ於テ日本郵船會社ノ船舶ニ積替托送スヘキ仙臺方面行ノ回送鹽ニ付同港ニ於ケル郵船會社ノ船舶又ハ積荷等ノ都合ニ因リ積込遲延ニ依リテ延著ヲ生シタル場合ニ於テハ神戸支局ニ於テ右ニ關スル事項ヲ證明シタルトキ

三 運送請負人カ正當ノ事由ナク引渡豫定期間ヲ經過シ其ノ後ニ至リ天災其ノ他ノ事變ニ遭遇シ之カ爲引渡遲延ヲ生シタル場合ハ亡失以外ノ鹽ニ對シテハ懈怠金ヲ徵收スヘキモノトス

丁 亡失損傷ニ關スル事項

一 運送請負人カ正當ノ事由ナク引渡豫定期間ヲ經過シ其ノ後ニ至リ天災其ノ他ノ事變ニ遭遇シ之カ爲亡失、損傷ヲ生シタル場合ハ凡テ之カ賠償ヲ爲サシムヘキモノトス但シ引渡豫定期間内ニ引渡ヲ了スルモ尙且亡失、損傷ヲ免ルルコト能ハサリシコトノ確證アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 引取豫定期間經過後ニ鹽ノ引取ヲ爲シ其ノ後ニ至リ天災事變ノ爲亡失損傷シタルトキハ假令引取遲滞ナカリセハ斯カル損

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

害ヲ生セサルヘシト認メ得ヘキ場合ト雖苟モ其ノ事故ニシテ引渡豫定期間内ニ生シタルモノナル以上ハ之カ損害ヲ賠償セシムヘキモノニアラス

八一

本船又ハ積込驛マテ解送リノ途中回送鹽濡損シ亡失又ハ損傷ヲ生シタル場合ノ取扱ニ付左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第三三五八號部長通牒(大正四年十一月二十七日)

本局事務監督員ノ報告ニ依レハ回送鹽ヲ本船又ハ積込停車場迄解送リニ依ル場合ニ途中濡損等ノ爲亡失損傷ヲ生シタルトキハ此等被害鹽ヲ積戻シ損害ノ處分決定ヲ爲シ其ノ補充又ハ引替發送不能ノモノニ對シテハ運送命令ヲ解除シ且回送不能トシテ整理相成候向有之趣ヘトモ右ハ回送規程第十七條ノ手續ヲ爲スヲ以テ足り運送命令ノ解除並回送不能ノ整理ヲ要セサル義ト御了知相成度但シ汽車回送ノ場合ニ於テ右損害ノ爲一噸未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ端數ノ運送上運賃ヲ損失セサル様取扱ハルヘク回送鹽損傷調査ニ付左ノ通牒ヲ爲シタリ

甲第二三六號ノ二部長通牒(大正五年一月二十八日)

鹽運送請負書第五條第一項第二號中損傷鹽ノ原價ハ單ニ鹽化曹達量ノミニ依リ決定スヘキモノニアラスシテ苟モ品質粗惡ナラシメタル事由ハ凡テ鑑定材料ト爲シ適當ト認ムル價格ヲ決定スヘキモノニ有之必シモ鑑定等級相當ノ鹽賠償價格ノ鹽專賣法施行細則第十七條ヲ標準トスルニ合致スヘキ要無シモノト御了知相成度

支局部長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正五年四月)

二六 回送鹽ノ要求ニ關スル件

鹽ノ分配ニ付テハ各回送先ノ要求ニ基キ努メテ公平ニ配賦セルニモ拘ラス製鹽減少期間回送先ニ依リテハ多量ノ上級鹽ヲ停滯セルニ他ノ回送先ニ於テハ之カ供給不足ヲ來スコトアルニ付向後成ルヘク見越要求ヲ爲ササルト同時ニ發送元ニ於テハ正確ナル見込ヲ立テ且出來得ル限リ命令鹽ノ收納回送ニ努ムヘシ

二七 鹽ノ回送命令ニ關スル件

鹽ノ回送上運送請負人カ船操濟ナルニモ拘ラス命令ニ適應スル等級包裝鹽ナキカ爲回送先ニ照會シテ他ノ等級包裝鹽ニテ差支ナキ旨ノ回答ヲ得タル場合ニ際シ之カ變更稟申ノ爲回送ノ時機ヲ失スト認ムルトキハ事後承認ノ方法ニ依リ發送スルヲ妨ケス但

シ之カ爲諸他ノ回送先ニ對スル回送供給ニ支障ナカラシムルコトニ注意スヘシ

### 二八 鹽ノ分配ニ關スル件

鹽ノ分配計畫ニ際シテハ回送先要求ノ等級包裝別ニ適應セシムルコトニ努ムヘキモ發送元ニ於ケル持越及收納見込ノ都合ニ依リテハ其ノ要求ヲ取捨スヘキハ勿論冬季又ハ天候不良等ニ際シテハ要求通ノ等級包裝鹽ヲ仕向ケ能ハサルニ依リ斯ル場合ハ等級包裝ノ何タルヲ問ハス買受人ヲシテ豫メ之カ引取ヲ爲サシムル手配ヲ爲ス等荷モ供給不足ノ爲兎角ノ批難ヲ招カサル様注意スヘシ

### 二九 回送鹽ノ到達ニ關スル件

發送元ニ於テハ當初ノ回送計畫通發送行ハレ難ク回送先ニ於テハ其ノ計畫接受後直ニ之カ變更ヲ申込ムノ向多キカ如シト雖向後ハ出來得ル限り之カ匡正ニ努メラルヘク殊ニ回送先ニ於テ荷モ在庫鹽ヲ擁スル限り之カ變更速達ヲ要求セサル様注意スヘシ

### 三〇 鹽ノ運送ニ關スル件

沿岸航路ハ追々貨物輻輳シ船復ノ需要期ニ向ヒタルヨリ運賃ハ目先尙漸騰ノ狀況ヲ呈シ船舶ノ繰縦一層困難ヲ來セルモノノ如ク鹽回送上憂慮ニ堪ヘサルモノアリ曩ニ鹽運送契約ノ當時既ニ此ノ氣勢ヲ認メタルヲ以テ繰船ヲ容易ナラシムル爲其ノ時々承認ヲ得テ貯積廻シノ上一港ニテ本船ニ積取ヲ爲シ得ヘキコトトセリ右ハ固ヨリ濫用ヲ許ササルモ繰船困難ノ折柄ニ付能ク機宜ヲ察シテ認否ヲ決定シ回送上支障ナカラシムヘシ

### 三一 回送鹽ノ荷役ニ關スル件

荷役ノ遅延ハ滞船期間ノ延長トナリ一般船主ノ嫌忌スル所殊ニ目今ノ如キ船腹不足ノ場合ニ在リテハ一層嚴格ニ滞船料ヲ附加セラルヘク延テハ繰船ニ應スルヲ嫌フニ至リ鹽回送上ニ影響ヲ來スノ虞アリ故ニ回送船入港ノ場合ハ出來得ル限り荷役上ノ便宜ヲ與ヘ緊急必要ノ本船ニ對シテハ隨時夜間荷役ヲモ認ムルコトニ取扱フヘシ

### 三二 回送鹽汽船賃調査ニ關スル件

運賃實費ノ調査ハ甚タ困難トスル所ナレヘキモ次期運賃協約上ノ資料ニシテ殊ニ現行契約四、五兩月分ノ運賃ニ對シテハ萬一損失多大ニシテ請負人トシテ營業ヲ繼續スルコト能ハサル虞アルニ至リタルトキハ臨時運賃ヲ相當更正スヘキ條件ヲ附シ置キタルヲ以テ回送鹽汽船賃ニ對シテハ一層入念ニ其ノ實費ヲ調査シ報告スヘシ

回送鹽ノ被害及引取並引渡遅延ニ關スル取扱方中損害賠償算定方ニ付左ノ通牒ヲ爲セリ

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

甲第一九〇四號部長通牒(大正五年七月十七日)

回送鹽損害ノ場合ニ於テ鹽運送請負人以外ノ者ニ對スル損害賠償請求ノ方法ニ關シテハ大正四年六月甲第一七三三號ヲ以テ及通牒置候處商法第三百四十條ニ依リ損害賠償ヲ請求スル場合ニ於ケル求償額ノ算定方ハ同條第三項ヲ適用シ政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格ヨリ支拂フコトヲ要セサリシ運賃其ノ他ノ費用ヲ控除スヘク又鹽ノ如ク賣渡價格ノ一定シ居ルモノハ民法第七百九條ニ依リ求償スル場合亦同趣旨ニ依リ算定スヘキ義ト御了知相成度追テ甲第一七三三號甲ノ十二、末段「損害ノ實額」以下「即チ政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格」ヲ削除ス

臺灣鹽ノ輸移入増加セシヲ以テ現在高報告中ニ臺灣鹽及關東州鹽ノ現在數量ヲモ附記スルコトト爲セリ

甲第四五號部長通牒(大正六年一月十日)

毎月定期二回本局へ提出ニ係ル回送鹽現在高報告又ハ收納鹽現在高報告備考欄ニハ向後臺灣鹽及關東州鹽現在數量ヲモ區分掲記可相成候

支部局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正六年五月)

一八 鹽ノ分配ニ關スル件

鹽ノ分配ニ付テハ需要ノ時期ヲ失セス且全國適當ニ按配スルコトヲ要シ其ノ分配ハ一ニ鹽ノ需要高表及回送高表ニ依リ計畫スルモノナルヲ以テ右兩表ノ記載事項ニ付テハ努メテ正確ノ調査ヲ要スヘキ旨ナルニモ不拘今尙之カ注意ヲ爲ササル向不尠尙後ハ出來得ル丈ケ之カ的確ヲ期スヘキハ勿論之ニ依リ本局ノ回送及配賦命令ヲ受ケタルトキハ發送元ニ於テハ回送不能ヲ生セサルト同時ニ回送先ニ於テハ供給鹽ノ過不足ヲ生セサル様注意セラルヘシ

二〇 鹽ノ運送ニ關スル件

時局ノ爲海運界好況ノ折柄回送鹽輸送上ノ困難ヲ來シ供給上憂慮ニ堪ヘサルモノアリ依テ左ノ如キ場合ニ處シテハ能ク機宜ヲ察シ適當ノ處置ヲ採リ運送請負人ヲ督勵シテ回送上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

(一) 汽船、汽車等ニ途ノ輸送經路ノ契約アルモノハ其ノ時々ノ狀況ニ應ジ輸送確實ナリト認ムル經路ニ依ラシメ回送ノ圓滑ヲ計ルヘキコト

(二) 管内各所分回送鹽ヲ一地ニテ積取ノ爲解積廻シノ場合ニ於テ拂出數量ノ最多額ナル箇所ニ本船ヲ入港セシメ難キ事情アルモノハ入港ヲ便宜トスル港灣ニ於テ積取ヲ認ムルコト



(三) 一回送先ニ對スル回送命令鹽ヲ管内數箇所ニ分割運送命令ヲ爲シ運送請負人ハ之ヲ同一船舶ニ積合ハセ回送スル場合ニ於テ生シタル積殘鹽ハ假令各拂出官署毎ノ單獨命令ナリト雖其ノ積合セ合計數量ニ依リ計算スルコト

二一 一回送鹽ノ到達ニ關スル件  
 發送元ニ於テハ當初ノ回送計畫通過發送行ハレ難ク殊ニ甚シキハ翌月末又ハ翌々月ニ變更拂出スモノアルト同時ニ回送先ニ於テハ其ノ計畫接受後直ニ之カ變更迅速ヲ申込ム向モ尠カラスト雖如斯ハ相互ノ取扱上支障不尠ヲ以テ回送先ニ於テ荷モ在庫鹽ヲ擁スル限ハ發送元ノ計畫變更ヲ要求セサルヘク又發送元ニテハ出來得ル限計畫ノ實行ニ努メ回送船車ニ故障ナキ限ハ全部當月中ニ發送スルコトニ注意セラルヘシ

回送拂出高表ヲ左ノ通改正ス

甲第一九六六號部長通牒(大正六年六月二十五日)  
 鹽回送規程第八號書式鹽回送拂出高表ハ六月分ヨリ別紙様式ニ依リ調製報告相成度追テ右様式用紙ハ從來ノモノ便宜訂正使用相成度候也

回送元	命令月日	等級	包裝	命令數量	鹽回送拂出高表		回送不能	備考
					拂出數量	翌月へ變更		
淺草	5月25日定期	5	40	1,500,000	1,300,000	199,200	800	13條3項ニ依ル生産不足ノ爲メ
	前月ヨリ繰越シ	3	40	500,000	498,000	—	—	
△	6月20日減額	3	40	1,200	—	199,200	800	
計				1,998,800	1,798,800	199,200		
函館	5月25日定期	5	40	3,000,000	2,999,600	—	—	
△	6月10日包裝變更	5	40	400	—	—	—	

鹽專賣 鹽ノ貯藏・回送 回送

6月15日	5	90	400	400					
増額	4	40	1,000,000	1,000,000					
計			4,000,000	4,000,000					
合計			5,998,800	5,798,800	199,200		800		
淺草	5			1,300,000					
	3			498,800					
函館	5			3,000,000					
	4			1,000,000					
計				5,798,800					

備考

(△印ハ朱書)

- 一 本書ハ各發送元拂出高ヲ總括シテ本局回送命令ニ對シ拂出高ヲ記入スルモノトス
  - 二 第八號書式備考第二乃至第四ヲ適用ス(但シ合計ノ等級別内譯ノミトス)
  - 三 規定第六條第二項ニ依ル分ハ本例ニ準シ記入シ其ノ旨備考ニ掲クルモノトス
- 回送鹽引取猶豫期間計算ニ付左ノ指示ヲ爲セリ

甲第二六五八號部長指示對三田尻支局長(大正六年八月三十日)

運送命令後現品引取前ニ運送經路ヲ變更シタルトキハ其ノ政府ノ都合ニ依ルト又ハ運送請負人ノ申請ニ依ルトヲ問ハス總テ經路變更命令ノ日ヨリ新經路所定ノ期間ヲ認ム但シ引取猶豫期間經過後ニ於テ經路變更アルモ既發ノ引取運滯責任ニハ何等影響セサル義ト御了知相成度

水戸專賣支局ヲ鹽販賣官署ト爲シタル爲引渡手續中左ノ改正ヲ加ヘ尙一回ノ引渡數量ヲ改ム

甲第三三二〇號長官達(大正六年十月二十六日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續申左ノ通改正シ大正六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中

淺草專賣支局

山梨縣甲府市

ノ次ニ左ノ一欄ヲ加ヘ

淺草專賣支局

福島縣石城郡平町

ヲ削ル

水戸專賣支局

福島縣石城郡平町

第二條中「十萬斤以上」ノ下括弧内ヲ(裁ニ於テハ三萬斤以上、堺及須崎ニ於テハ五萬斤以上)ニ、「一萬千斤」ヲ「一萬二千八百斤」ニ改ム  
内地鹽供給不足ノ爲補充トシテ臺關鹽ヲ回送スルコトトシ該回送鹽ハ移輸入取扱人ヲ運送請負人ニ指定シ便宜同人ヲシテ包裝セシメ發送官署ニテハ散鹽ニテ受拂整理シ之カ回送方ハ總テ回送規程ヲ準用スルコトニ左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第三六〇六號部長通牒(大正六年十一月十五日)

内地鹽供給不足ノ補充用トシテ差向キ左記ノ通臺關鹽等ノ官費回送可相成候處右移輸入鹽ハ概シテ散鹽ナルヲ以テ之ヲ回送スルニハ相當包裝ノ必要モ有之候ニ付キ此ノ際便宜移輸入取扱人(即運送請負人)ヲシテ包裝運送ヲ爲サシムヘキモ發受兩官署ニ於テハ散鹽ニテ受拂整理ヲ爲シ且其ノ回送方ニ關シテハ現行鹽回送規程ヲ準用スヘキ義ト御了知相成タシ  
追テ管内關係出張所ニ對シテハ貴官ヨリ移牒相成度爲念申添候

發	送	元	回	送	先	備	考
横		濱	郡山、宇都宮、水戸			時宜ニ依リテハ松本、直江津及仙臺方面ヘモ回送スルコトアルヘシ	
青		森	土崎、酒田				
函		館	小樽				
新		潟	直江津				
名	古	屋	松本			時宜ニ依リテハ直江津及新潟ヘモ回送スルコトアルヘシ	
伏		木	金澤				
敦		賀	福井、直江津				

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

發	元	回	先	備	考
大	阪	堺		堺ニ對シテハ可成回送ヲ爲ササルモノトス	
境		米子		時宜ニ依リテハ米子及新潟へモ回送スルコトアルヘシ	
門	司	鹽釜、仙臺			
三	角	熊本、鹿兒島			

回送鹽ノ等級包裝別變更ハ本局承認ヲ受クヘキモノナルモ需要逼迫ノ場合ニ在リテハ回送先ニ協議ノ上變更決行シ事後申報ニ止メ得ルコトニ指示シタリ(大正六年十二月甲第三八三三號指示對坂出支局長)

鹽回送拂出ハ回送先ニ於ケル需給ノ緩急ニ應シ適當ニ按配回送方注意セリ

甲第一九一號部長通牒(大正七年一月十九日)

鹽ノ回送拂出ニ際シ發送元ニ依リテハ遠隔ノ回送先又ハ船線便利ナル箇所ニ對シ優先回送ヲ爲スノ向モ有之爲ニ供給上ノ支障ヲ來シタルノ場合モ有之候處右ハ爾今本局指示以外ノモノニ付テハ毎週日毎ニ送付セル回送先別鹽現在高調書ヲ參考スヘキハ勿論時宜ニ依リテハ回送先ト協議ヲ遂ケ能ク其ノ需給ノ緩急ニ應シ夫々適當ニ按配回送方御取計相成度

鹽ノ配給運送ニ關シ左記注意ス(大正七年四月支部局長會議)

二九 鹽ノ配給ニ關スル件

鹽ノ配給方ニ付テハ各販賣官署ニ相當準備鹽ノ貯藏ヲ爲シ各地需要ノ時期ヲ失セス適當ニ按配スルコトヲ必要トスルモノナルモ一兩年來消費鹽ノ激増ニ對シ供給ノ之ニ伴ハサルモノアルノ折柄發送元ニテハ回送見込ヲ過少ニ回送先ニテハ其ノ要求ヲ過多ニ見込ムノ傾向アルカ如シ如斯ハ一般配給上ニ支障不尠ヲ以テ向後ハ努メテ之カ正確ヲ期セラルヘキハ勿論之ニ依リ本局ノ回送及配賦命令ヲ受ケタルトキハ發送元ニ於テハ極力製産ノ増額ヲ圖リ以テ回送不能ヲ生セサルト同時ニ回送先ニ於テハ篤ト管内需給ノ緩急ヲ查覈シテ之カ調節ヲ計リ供給鹽ノ過不足ヲ來ササル様注意セラルヘシ

三〇 鹽ノ運送ニ關スル件

時局ノ爲回送船車ノ差繰困難ニシテサナキタニ内地鹽ノ製産不十分ノ折柄各回送先共供給不足ノ虞アルヲ以テ二途以上ノ輸送  
經路契約アルモノハ勿論各地積廻シ積合せ等荷モ回送鹽ノ速達ヲ期シ得ヘキモノハ此ノ際臨機適當ノ處置ヲ採リ運送請負人ヲ  
督勵シテ回送上遺漏ナキヲ期セラルヘシ

三一 回送鹽ノ到達ニ關スル件

鹽ノ回送ハ近來計畫ニ對スル實行ノ件ハサルモノ多ク殊ニ甚シキハ翌月末又ハ翌々月ニ繰越發送スルモノアルト同時ニ回送先  
ニ於テハ計畫變更ヲ申込ムノ向モ尠カラスト雖如此ハ相互ノ取扱上支障不尠ヲ以テ回送先ニ於テ荷モ在庫鹽ヲ有シ供給差支ナ  
キ限りハ發送元ノ計畫變更ヲ要求セサルヘク又發送元ニテハ出來得ル限り計畫ノ實行ニ努メ當月分ノ回送鹽ハ全部其ノ月中ニ  
發送スルコトニ留意セラルヘシ

叙上三件ノ要旨ハ前回ニ於テ注意シタルトコロナルモ今尙之カ改善ヲ爲ササルノ向モ不尠ニ付キ時局ニ際シテハ特ニ一層之ヲ  
注意セラルヘシ

船車ノ差繰困難等ノ爲回送敏活ナラス甚シキハ命令發後二、三箇月ニテ漸ク全部到達ノモノアリ遲滞ナク運送命令ヲ  
發シ成ルヘク翌月繰越發送ト爲ササルコトニ注意ヲ促セリ

甲第二五一三號部長通牒(大正七年六月二十五日)

鹽ノ回送ニ付テハ從來數次及御注意置得共依然回送敏活ナラス當月分回送鹽ニシテ其ノ月中ニ到達スルモノハ極メテ少ク命令  
後二三月位ニシテ漸ク全部到達受入ヲ了スルノ現況ニ有之候處右ハ時局ニ際シ回送船車ノ差繰困難ナルニ依ル義モ可有之候得共  
又一面ニハ運送請負人カ可成賃率ノ低廉ナル船舶ニ依ラムトスルカ爲勢ヒ之カ船繰遅延ヲ來セル結果ニ外ナラサルヘク如斯ハ回送  
先ノ供給上支障不尠候間尙荷モ回送命令鹽ヲ引渡シ得ヘキ狀態ニアル限りハ運送請負人ニ對シ遲滞ナク運送命令ヲナシ當月分  
ノ回送鹽ハ全部必其ノ月中ニ引渡發送ヲ了セラルル様致度尙若月末ニ際シ天候其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲收納ニ支障ヲ生シ又  
ハ積載船舶ノ延著等ニ依リ翌月七日迄ニ引渡ヲ爲スノ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外ハ全部回送不能整理ヲ爲シ可成翌月ニ繰越發  
送ヲ爲ササル様特ニ御注意相成タシ

回送鹽拂出後配給貨車カ端積トナルヘキ場合之ヲ補填スル増積鹽ニハ拂出ノ當日ヲ以テ増額命令アリタルモノトシ  
テ整理スルコトニ左ノ通牒ヲ爲セリ

鹽ノ貯藏、回送

甲第四四九〇號部長通牒(大正七年十一月十八日)

汽車積回送鹽拂出後配給貨車ノ都合ニ依リ一貨車未滿ノ端數ヲ生シタル場合ニ於テ便宜其ノ不足補填ノ爲ニスル増積鹽ニ對シテハ別ニ命令ノ形式ヲ用ヒサル爲各所ノ取扱區々ニ涉リ居候處右ハ自今拂出ノ當日ヲ以テ當然回送増額命令アリタルモノトシテ整理相成度尙本文増積ヲ爲シタル場合ニ於ケル回送先ヘノ通報及本局ヘノ申報ハ拂出ノ都度別記様式ニ依リ發送相成度(様式)

第 號

大正 年 月 日

汽車回送鹽增積申  
通報

何 專 賣 支 局

發送元	回送先	增 積			積 殘			數量計
		拂出 月日	等 級	包裝 種類	命令 日番號	等 級	包裝 種類	
				鹽 數量			鹽 數量	

鹽回送案内書ニハ直營再製ト委託再製トヲ區別シ再製鹽ナルコトヲ明記スルコトニ通牒セリ

甲第四九三七號部長通牒(大正七年十二月十三日)

内地再製鹽ノ回送ニ關シテハ鹽回送規程第十二條ニヨル回送案内書備考欄ニ其ノ旨掲記相成度但シ直營再製鹽ト委託再製鹽トハ區分明記ヲ要ス

現在高報告ニ關シ左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第四九七四號部長通牒(大正七年十二月十三日)

右報告書中移輸入鹽ノ現在高ニ對シテハ回送命令濟未發送數量ヲ内書記載相成度鹽運送請負人ノ提出スル鹽運賃見積書ハ其ノ様式ヲ一定ス

甲第五二二八號部長通牒(大正七年十二月二十七日)

十州鹽回送會社ヨリ提出スル鹽運賃見積書ノ記載方各社區々ニ涉リ候爲調理上繁雜ナル手數ヲ要シ運賃調査ニモ不便不尠候ニ付鹽回送規程第四條ニ依ル鹽運賃見積書ハ自今別紙様式記載例及備考ニ依リ作成セシメラレ度

鹽運賃見積書

發送元	回送先	直 接 費			間 接 費			手數料運賃計	引渡豫定期間 船車渡倉入	備 考
		汽車路 陸路	海路	倉出積込積替	荷揚(卸)倉入	毛	毛			
赤 穂	淺 草	哩								汽船 何倉庫
		毛								同倉庫
赤 穂	松 本	哩								何驛ヨリ汽車
		毛								何々迄汽船(又ハ帆 船)何々驛ヨリ汽車
赤 穂	直江津	哩								汽船 (冬季)
		毛								同 (夏季)
		哩								何驛ヨリ汽車 (冬季)
		毛								同 (夏季)

備考

- 一 本見積費額ハ百斤當トス
- 二 發送元回送先別ニ記載スヘシ
- 三 一回送先ニ對シ數經路アル場合ハ輸送別及仲繼地毎ニ列記スヘシ

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

- 四 回送時季ニ依リ費額ヲ異ニスルモノハ各別ニ記載スヘシ
- 五 回送先收藏倉庫ノ位置ニ依リ費額ヲ異ニスルモノハ各別ニ記載スヘシ
- 六 間接費ハ各最高費額ヲ掲記シ取引、積込、積替又ハ引渡區分等ニ依リ増減又ハ割増ヲ要スルモノハ備考トシテ餘白ニ附記スヘシ

- 七 汽船積ニシテ發送元ニ於ケル積替費ハ積込費ニ合算スヘシ
- 八 陸路ノミノ箇所ニ於ケル仲繼費ハ陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 九 汽車運賃ハ鐵道院ト後拂特約扱ノモノハ當該欄ニ記載ヲ省略シ別表トスルヲ妨ケス

鐵道院ニテ引渡期間超過荷物運賃割戻規程ヲ制定セラレタルヲ以テ汽車回送鹽延著ノ場合運賃割戻請求方ヲ定ム

甲第八八九號ノ二部長通牒(大正八年二月二十八日)

客年十二月十二日鐵道院告示第九七號ヲ以テ引渡期間超過荷物運賃割戻規程制定セラレ候處官費回送鹽延著ノ場合運賃割戻請求方ハ左記ニ據リ御取扱相成度

一 回送鹽到著シタルトキハ回送先官署ハ當該回送鹽ノ發驛受託日及到著月日ヲ適宜ノ方法ニ依リ調査シ引渡期間超過荷物運賃割戻規程第二條ノ期間ヲ超過シタルモノアルトキハ即時運送請負人ヲシテ荷物引渡證明書ノ交付方ヲ著驛長ニ請求セシムルコト

荷物引渡證明書ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ延著回送鹽ノ發送元所轄支局ニ送付スルコト

二 發送元所轄支局ハ前項ノ證明書ヲ收受シタルトキハ證明書請求欄ニ式ノ如ク記入シ回送鹽發送驛長ニ送付シ運賃割戻ヲ請求スルコト

三 荷物引渡證明書中割戻金ノ請求及領收者ハ運賃支拂官署長トスルコト

四 運賃割戻金ハ後拂運賃ト相殺受領スルコト

高山送ノ回送案内書ハ一貨車分毎ニ發行ノコトト爲セリ

甲第一七七八號部長通牒(大正八年四月十四日)

鹽回送規程第十一條ニ依リ鹽回送案内書ハ高山送ニ限り一貨車分毎ニ發行相成度



支部局長會議ニ際シ左記事項ヲ注意セリ(大正八年四月)

一四 回送鹽ノ要求ニ關スル件

製鹽ノ不況竝輸送機關不如意等ノ爲鹽ノ配給不十分ナル折柄回送先ニヨリテハ往々賣渡見込高ヲ膨大ナラシメ著シク過大ノ要求ヲナセル向アリテ配給上甚シキ支障ヲ來シタルコトアリ向後ハ努メテ正確ナル要求ヲ爲スコトニ留意シ發送元ニ於テモ極力製鹽ノ増加ヲ計リ確實ナル收納見込ヲ立テ回送命令ニ對シテハ苟モ不能ヲ生スルコトナキ様努メラルヘシ

一五 回送鹽運賃ノ仕拂ニ關スル件

回送鹽運賃仕拂ノ遅延ハ次期更新契約運賃ニ影響ヲ來スノ虞アルヲ以テ回送先官署ニ於テハ回送鹽ノ受入ヲ迅速ナラシムルト共ニ速ニ規定ノ領收證ヲ發送シ發送元官署ニ於テハ遲滞ナク運賃ノ仕拂ヲ了シ輸送ヲ督勵シテ回送ノ圓滿ヲ期セラルヘシ

汽車積回送鹽延著證明ニ關シ左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第三三四號部長通牒(大正九年一月二日)

汽車積回送鹽ニ對スル運送請負人ノ貨車配給請求年月日證明方ニ關シテハ爾今積載貨車内ニ貼付スヘキ所定ノ入記票ニ發送元官署ニ於テ發送驛ニ就テ豫メ調査シタル資料ニ基キ其ノ年月日ヲ記入認證シタルモノニ限り該入記票ヲ以テ鐵道發驛々長ノ證明ト同一效力ヲ有スルモノト看做シ延著處分ノ資料ニ充當シ得ヘキ義ト御了知相成度

甲第六四七號部長通牒(大正九年一月二十三日)

右(汽車積回送鹽延著證明)ニ關シ二月二日附甲第三三四號ヲ以テ通牒致置候處貨車積込地カ發送元官署所在地ト隔在セル場合ニ在リテハ發送元官署ハ右入記票認證ニ關スル事項ヲ積込地最寄ノ專賣官署ニ囑託スルコトヲ得ヘキ義ト御了知相成度尤モ此ノ場合ニ於テハ受託官署名及發驛名ヲ豫メ回送先官署ニ通報相成度

運送契約中荷揚卸、倉入費ハ契約當時ニ於ケル各倉庫ニ對シ各別又ハ平均ヲ以テ協定セルモノナルニヨリ船車接續輸送回送鹽ヲ仲繼地ニ於テ一時他ノ場所ニ假揚ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用シ難キニヨリ現在其ノ實費ヲ調査シ契約額ヲ増減スヘキモノニ在リテハ運送請負人ニ對シ證明書ヲ交付スルト同時ニ發送元官署ニ對シ費額及數量ヲ通報スルコトニ取扱方ヲ通牒セリ

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

甲第六〇五號部長通牒(大正九年二月二十三日)

船車接續輸送回送鹽ヲ積替地ニ於テ貨車不廻又ハ倉庫倉闕其ノ他已ムヲ得サル事情ニ依リ一時他ノ場所ニ假揚ヲ爲シタル場合ハ明治四十四年六月六日丁第一七九六號後段及同年同月同日販賣部長依命通牒丁第一七九六號ノ二ニ據リ御取扱相成度

鐵道院ト協定セシ汽車輸送回送鹽特約扱ニ付テハ毎年度更新シ來リシモ大正九年度ニ至リ同年度以後ハ左ノ協約ニ依ルコトトナセリ之カ鐵道院達左ノ如シ(大正九年二月甲第六五八號通牒)

鐵道院達第一一八號(大正九年二月十二日)

專賣局回送鹽運送請負者託送ニ係ル貨切扱鹽運賃後拂其ノ他四月一日ヨリ各號ニ依リ取扱フヘシ

一 運送請負者

日本食鹽回送株式會社

大日本鹽業株式會社

二 發 驛

東神奈川、海神奈川、半田、武豊、熱田、名古屋港、四日市、安治川口、櫻島、新川、曾根(山陽)、飾磨港、那波、宇野、笠岡、松永、尾道、糸崎、大島、柳井津、田布施、下松、徳山、福川、三田尻、大道、小郡、長府、下關、門司、大里、上熊本、三角、苅田、行橋、大貞、豊前善光寺、宇佐、隅田川、青森、直江津、敦賀港

三 積載標準箇數

一噸ニ付

百斤入	(収入又ハ俵入)	十六箇
八十斤入	(〃)	二十箇
五十斤入	(〃)	三十二箇
四十斤入	(〃)	四十箇

四 運賃支拂方法

一箇月毎ノ後拂トス、關係管理局ニ於テ貨物運送狀ニ記載セル專賣支局ヨリ之カ收受ノ手續ヲ爲スモノトス

五 記 事

本達ニ依リ取扱フ貨物託送ノ爲提出スル貨物運送狀ニハ記事欄ニ「運賃ハ、專賣支局拂」ト記載セシムルモノトス

貨物通知書ニハ運賃支拂專賣支局名ヲ、、、支局拂ト記載スルモノトス

鹽運送請負契約ハ毎年度更新スルコトトナセルモ必要アルトキハ期間ヲ短縮シ得ルコトトシ且又回送命令鹽ノ等級、  
包裝ハ回送上支障ヲ來スヘキ虞アル場合ニ在リテハ回送先官署ノ同意ヲ得テ變更シ得ル等回送規程中左ノ改正ヲ爲セ  
リ

甲第一三〇九號長官達(大正九年三月二十九日)

鹽回送規程中左ノ通改正シ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ必要アルトキハ契約期間ヲ短縮スルコトヲ得

第四條ヲ左ノ通改ム

鹽運送請負希望者ヨリ徵スヘキ鹽運賃見積書ハ第一號書式ニ依ルヘシ本局ノ締結ニ係ル現運送契約額ニ對シ回送先官署長ハ荷  
場(卸)倉入費額又發送元官署長ハ右以外ノ各費額及到達豫定期間ニ對スル改定ノ要否ヲ調査シ現行契約期間滿了ノ日ヨリ少ク  
トモ一箇月前ニ之ヲ本局ニ報告スヘシ

第五條中第一項ノ「本局ニ於テ」ノ四字及指定シタルトキハノ下「發送元官署長ハ」ノ七字竝請負書ヲ徵ノ下「シ之ヲ本局ニ提出」ノ  
八字ヲ削リ第二項指定シタルトキノ下ニ「ハ」ノ一字ヲ加ヘ「亦同シ但シ第一條第一號ノ場合ニ限リ」ノ十七字ヲ削ル

第六條中第一項此ノ場合ニ於テハノ下ニ「直ニ」ノ二字及其ノ下ニ「發令月日」ノ四字ヲ加ヘ「回送シタル鹽」トアルヲ「鹽ノ種  
類」ニ改メ包裝ノ下ニ「別」ノ一字ヲ加ヘ數量ノ下運賃ノ二字ヲ削リ報告スヘシノ下ニ「之ヲ増減變更シタルトキ亦同シ」ト追加シ

第二項ノ次ニ左記第三項ヲ追加ス

發送元官署長ハ鹽回送上支障ヲ來スヘキ虞アル場合ニ限リ回送先官署ノ同意ヲ得テ命令ニ指定シタル鹽ノ等級、包裝ヲ變更スル  
コトヲ得此ノ場合ハ其ノ旨直ニ本局ニ報告スヘシ

第十二條ニ左記第二項ヲ追加ス

前項ノ規定ハ第六條第一項但書ノ回送鹽ノミヲ取扱ヒタル發送元官署ニ之ヲ準用ス

第二號書式鹽運送請負書中左ノ通改ム

第一條第三項末尾ニ左ノ通追加ス

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

ニ付テハ大正七年十二月鐵道院告示第九十七號引渡期間超過荷物運賃割戻規程ニ依ル割戻額ハ御局ニ於テ受領可被成下候  
 第五條第一號ノイ運送命令アリタル當時ノ、下左ノ通改ム

價格即チ内地鹽ハ鹽賠償價格再製鹽及加工鹽ハ御局ノ受入價格輸入鹽ハ鹽購買價格門司港以外ニ輸入ノ分ハ門司港ト當該  
 輸入港間ニ對スル支給運賃ヲ加フト政府ノ元賣捌人ニ賣渡ス價格トヲ比較シテ其ノ低廉ナル方ニ依ル

第五條第二號中「運送御命令アリタル當時ノ鹽賠償價格ヨリ」トアルヲ「前號イ(本文ノ辨償額ヨリ)ト改ム  
 第十二條中「厘位切捨」ノ四字ヲ削リ左記但シ書及第二項ヲ追加ス

但シ船積鹽ニシテ輸送途中ノ損傷等ニ因リ一部納入遅延スヘキ場合又ハ船車連絡輸送ニ依ルモノニシテ仲次驛ノ配車不充分等ヨ  
 リ一案内書分全部ノ納入ニ時日ヲ要スルトキハ納入濟數量ニ對シ分割制支拂ヲ受クヘク候

運賃ハ一請求書母ニ厘位切捨請求可致候  
 第三號書式月別鹽賣渡見込高表備考第四ヲ左ノ通改ム

輸入鹽ハ販賣區域内ニ於ケル自己輸移入見込高ト其ノ他ノ賣渡見込高ト及直營工場再製、加工原料所要見込高トニ區別シ各別  
 紙ニ調製スヘシ

第八號書式鹽回送拂出高表備考第二中「第八號書式備考第二乃至第四」トアルヲ「第五號書式備考第四第七號書式備考第三」ト改ム  
 第九號書式鹽領收證備考第一本文中「即日」トアルヲ「全部ノ受入ヲ了シタル當日直ニ」ト改メ但シ書ヲ第二ニ改メ現第二ヲ第三ニ

以下順次繰下ケ而シテ第一ニ左ノ但シ書ヲ加フ  
 但シ船積及船車連絡輸送ニ依リタルモノニシテ損傷其ノ他ノ事故ニ因リ一部受入遅延ニ涉ルヘキモノハ之ヲ除外シタル受入數量

ニ對シ分割領收證ヲ發行スヘシ此ノ場合ニ於テハ案内書番號欄ノ次ニ内番號ヲ附シ最終發行ノ分ニハ備考欄ニ「完結」ト附記ス  
 (シ)

支部局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正九年四月)

八 回送鹽ノ要求ニ關スル件

鹽需要高表ハ鹽分配上重要ノ資料ナルニ近來殊更ニ見込高ヲ加減シ回送所要高ヲ多大ナラシムル如ク作成セリト認メラルルモ  
 ノアリ斯クテハ配賦ノ公平ヲ愆ルコトナルヲ以テ必ス正確ナル見込高ニ依リ而シテ月末現在見込高ハ既命令鹽ノ未著分ヲ除  
 外スルコトナク假令月末迄ニ到達覺東ナシト認メラルルモノト雖回送不能ノ通知ニ接セサル以上ハ之ヲ加算掲上スヘク尙輸入  
 入鹽モ必之ヲ併記セラルヘシ

九 鹽ノ回送ニ關スル件

汽船積回送鹽ニ在リテハ其ノ回送命令高ニ適應スヘキ船腹ノ操縦ニ努メシムヘキハ勿論ナルモ時ニ線船ノ困難ナル等ニ因リ命令數量以上ニ積載スヘキ船舶ヲ回航シタル場合増額稟申ノ爲回送ノ時機ヲ失スト認ムルトキハ事後承認ノ方法ニ依リ適宜増積發送スルコトヲ妨ケス但シ之カ爲他ノ回送先ニ對スル回送供給ニ支障ナカラシムルコトニ注意セラルヘシ

十 回送命令鹽ノ品種變更ニ關スル件

鹽回送ノ時機ヲ失セサル爲臨機已ムヲ得サル場合ノ處置トシテ回送命令ノ包裝等級ヲ變更回送シ得ヘク認メ居ルモ近來其ノ數漸ク増加スルノ傾向アリ由來回送命令ハ回送高表所載ノ等級包裝別數量ニ基キ發令スルモノナレハ命令ニ適應セル品種ノ收納ニ努ムルニ於テハ當該品種ヲ得ルコト難事ニアラサルヘキヲ以テ成ルヘク品種變更回送ノ變則取扱ハ避クルコトニ注意セラルヘシ

回送元官署ニ於テ回送命令ノ指定事項ヲ變更セムトスルトキハ回送先官署ト協議ヲ要スルコトナレルモ所要數量ニ不足ヲ生シタル場合同一等級同一包裝ノ普通鹽ト混和再製鹽トハ相互ニ補充回送シ得ルコトニ指示シタリ(大正九年六月甲第三一六五號指示對廣島支局長)

鹽回送(命令ハ收納鹽ト再製鹽トヲ區分シ來リシモ實質ニ於テ差異ナキヲ以テ之カ區分ヲ廢止セリ)

甲第四二四一號部長通牒對發送元官署長(大正九年九月十一日)

鹽ノ回送命令ハ收納鹽ト再製鹽トニ區分發令致來候處今後ハ右區分ヲ撤シ命令ト同一等級、包裝ナルニ於テハ其ノ何レヲ充當回送スルモ差支ナキコトニ相改メ候條鹽回送高表ハ再製鹽ニ對シテモ必等級、包裝別ニ調理提出相成度追テ鹽回送計畫表、同案内書ハ從前通收納鹽ト再製鹽トニ區分發行可相成儀ト御了知相成度爲念申添候

甲第四二四二號ノ二部長通牒對回送先官署長(大正九年九月十一日)

鹽ノ配賦命令ハ收納鹽ト再製鹽トニ區分發令致來り候處今後ハ右區分ヲ撤スルコトシ發送元官署ニ於テハ回送命令ト同一等級包裝ナルニ於テハ收納鹽、再製鹽其ノ何レヲ充當回送スルモ差支ナキコトニ改メラレ候條御了知相成度追テ鹽回送計畫表同案内書等ハ從前通收納鹽ト再製鹽トニ區分發行可相成儀ニ付申添候

發送元驛ニ於テ配給シ得ル貨車現存スルモ偶鐵道線路ニ故障アル等ノ爲規定ノ引渡期間内ニ到達ヲ保シ難シト認ムル場合發驛ニテハ荷造人ヲシテ割戻運賃請求權拋棄ノ旨ヲ特約セシメテ貨車ヲ配給スルコトアリ此ノ場合特約ヲ肯

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

セサルトキハ自然他ノ貨物ヘ配車ヲ先占セラルヘキヲ以テ官費回送鹽ニ付テモ割戻請求權拋棄ノ特約ヲ爲シ得ルコトトシ運送請負人又ハ其ノ仲繼代理人ヲシテ豫メ發驛最寄ノ專賣官署長ノ承認ヲ受ケシムルコトト爲セリ（大正九年十月甲第五五五八號指示對岡山支局長）

回送鹽引渡場所中篠ノ井町ヲ加ヘ甲府市ヲ削リ續テ又平町及篠ノ井町ヲ削ル

甲第八〇號長官達（大正十年一月十二日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續第一條中淺草專賣支局山梨縣甲府市ノ欄ヲ削リ高崎專賣支局松本出張所ノ欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加ヘ大正十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

鹽 販 賣 官 署 名	引 渡 場 所
高崎專賣支局松本出張所	長野縣更級郡篠ノ井町

甲第二四六五號長官達（大正十年六月二十五日）

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續第一條中水戸專賣支局ノ欄福島縣石城郡平町及高崎專賣支局松本出張所ノ欄ノ内長野縣更級郡篠ノ井町ヲ削リ大正十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

回送鹽賣渡ニ當リ包裝ニ異狀ナク實量ニモ缺減ナカルヘシト思料セラルルモノニ在リテハ買受人ニ於テ實量計量省略ニ付異議ナク且又後日販賣ニ際シ認容量減ヲ超過スルモノアリタル場合必補填スヘキコトニ異議ナキ場合ニ限り實量計量ヲ略シ船側渡、貨車渡又ハ荷揚後倉入前賣渡ヲ爲シ差支ナキコトニ指示セリ（大正十年十月甲第三九八二號指示對岡山支局長）

收納鹽回送鹽及輸移入鹽ノ現在高報告ヲ一表ト爲シ左ノ通改正セリ

甲第三三六三六號長官達（大正十年十月四日）

收納鹽及回送鹽現在高報告様式ヲ別紙ノ通改正シ來ル十月分ヨリ之ヲ施行ス

(用紙半紙判)

月

日提出

鹽現在高報告(

月

日現在)

何地方專賣局(何出張所)

所  
派  
出  
所  
引  
渡  
場

區  
分  
等  
級  
又  
ハ  
種  
類

包  
裝  
鹽  
散

現  
在  
高  
鹽

回  
送  
見  
込  
高  
又  
ハ  
月  
末  
現  
在  
見  
込  
高

摘

要

内 地																				
合 計	送 回					納 收					千 斤	千 斤								
	計	五 等	四 等	三 等	二 等	一 等	計	五 等	四 等	三 等			二 等	一 等						

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

備考	備考						
	合計	鹽	入	移	輸		

備考

- 一 本表ハ毎月十五日及月末現在ヲ以テ調査シ五日以内ニ必發送スルモノトス
- 二 現在高ハ包裝鹽ト散鹽トニ區分シ鹽出納簿現在高ニ不拘事實倉庫ニ現在スル數量ニ依ル、但シ賣渡濟引渡未濟、回送受入濟領收證發行未濟及輸移入受入未濟數量ハ本表中ヨリ除外スルモノトス
- 三 回送見込高ハ現在高ニ收納及輸移入受入見込高ヲ加ヘタルモノヨリ賣渡見込高、備荒貯藏高及回送命令高中ノ拂出見込高ヲ控除シタルモノニ依リ、月末現在見込高ハ現在高ニ回送受入見込高ヲ加ヘタルモノヨリ賣渡見込高ヲ控除シタルモノニ依ルモノトス、但シ收納、輸移入、回送及賣渡見込高ハ十五日現在報告ニ在リテハ爾後其ノ月分ヲ、月末現在報告ニ在リ



テハ翌月分ヲ見込ミ計算スルモノトス

四 内地鹽散鹽中拂出時期ニ達シタル數量ハ之ヲ當該欄ニ内書朱記スルモノトス

五 直營及委託再製鹽ハ内地鹽ニ合算スルモノトス

六 輸移入鹽及加工鹽ハ原產地種類別ニ列記スルモノトス

七 回送受入濟領收證發行未済及輸移入受入未済並回送中ノ數量ハ之ヲ備考欄ニ區分記載スルモノトス

八 鹽回送受入ノ取扱ヲ爲ササル官署ハ回送鹽欄ヲ、又鹽收納ノ取扱ヲ爲ササル官署ハ收納鹽欄ヲ削除調製スルモノトス

九 收納鹽ハ當該所管地方專賣局ニ於テ全管分ヲ總括掲記シ出張所ニ於テハ報告ヲ省略スルモノトス

甲第四〇〇五號(大正十年十一月三日)

鹽現在高報告様式備考九ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

十 前項收納官署ノ輸移入鹽現在高ハ是亦所管地方專賣局ニ於テ取纏メ各所別ニ列記報告スルモノトス

汽車輸送回送鹽特約扱(大正九年二月鐵道院達第一一八號)中其ノ發驛ニ左ノ各驛ヲ追加セリ

鹽釜、沼垂、伏木、三國港ノ各驛 (大正十年二月二十日)

有年、酒田、最上川、土崎、雄物川、船川ノ各驛 (大正十年七月十二日)

高松、坂出、宇多津、詫間ノ各驛 (大正十年十一月一日)

四日市港驛 (大正十年十二月二十日)

回送鹽引渡場所中船津町ヲ加フ

甲第一〇六九號長官達(大正十一年三月三十日)

鹽販賣官署所在在地下ニ於ケル回送鹽引渡手續第一條中高崎專賣局松本出張所欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加ヘ大正十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

記

鹽 販 賣 官 署	引 渡 場 所
名 古 屋 地 方 專 賣 局	岐 阜 縣 吉 城 郡 船 津 町

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

支那局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正十一年四月)

八三二

十二 船舶積回送鹽ノ運送命令ニ關スル件

海路輸送ニ依ル回送鹽ハ船腹ヲ充タシ得ル程度ヲ標準トシテ運送命令ヲ發スルニアラサレハ艱船困難トナリ自然輸送ノ圓滿期シ得サルノミナラス時ニ命令ノ實行ヲ見ルコト能ハサル結果ニ終ルコトナキヲ保セス斯クテハ販賣計畫上ニ齟齬ヲ來サシムルノミナラス收納上ニモ支障ヲ及ホスコトアルニ至ルヘキヲ以テ運送命令ニ際シテハ一船舶輸送見込高ヲ管内各所ニ分配拂出ノ已ムヲ得サル場合ニ於テモ之ヲ取纏メ積取ヲ爲シ得ル如ク發令シ輸送實行上支障ナカラシムルコトニ注意セララルヘシ

十三 鹽ノ回送監督ニ關スル件

發送元官署ニ於テハ鹽運送命令ノ上ハ運送請負人ニ對シ期限内ニ引取方ヲ督勵スルハ勿論之カ倉出、積込上ニ對シ又途中積替輸送ヲ要スルモノハ其ノ仲繼地所轄官署ニ於テ之カ積替ニ對シ又回送先官署ニ於テハ荷揚卸倉入ニ對シ監督ヲ厲行スルト共ニ常ニ是等取扱實費ヲ調査ノ上末期運賃更新ノ資料ニ供スルコトニ注意セララルヘシ

十四 回送鹽ノ包裝ニ關スル件

内地鹽ノ需要ハ五十斤呎ノ賣行漸次増加シツアルモ奥羽地方及北海道並北陸地方ノ一部ニ在リテハ大部分八十斤呎ヲ要望シ未タ其ノ嗜好ヲ變更セシメ難キ狀況ニ付收納官署ニ於テモ之カ收納ニ付キ相當考慮ヲ要スルコト勿論ナルニ事實ハ之ニ反シテ八十斤呎ノ收納著シク減退セルモノノ如シ右ハ主トシテ曾テ傳ヘラレタル五十斤呎統一ノ聲ニ動カサレテ當該包装材料準備ノ手控ヲ爲スモノアルニ因レルモノト認メラルルモ未タ俄ニ八十斤呎ノ全廢ヲ實行シ難キニ付收納官署ニ於テモ當業者ニ對シ其ノ主旨ヲ合メ常ニ相當ナル八十斤呎包裝ノ準備ヲ爲サシメ收納回送上支障ナキヲ期セララルヘシ

船車連絡輸送回送鹽取扱方ニ付發送元官署ト積替地所轄官署トノ連絡及積替地ニ於ケル荷揚積込監督方ヲ左ノ通定メタリ

甲第一二六二號部長通牒(大正十一年四月十二日)

船車連絡輸送回送鹽ノ取扱方ニ付發送元官署ト積替地所轄官署ト連絡ヲ缺キ又積替地ニ於ケル荷揚積込監督方區區ニ涉リ居候處自今船車連絡輸送回送鹽ハ左記ニ依リ御取扱相成度

一 回送鹽發送元官署ニ於テ船車連絡輸送回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡發送シタルトキハ即時當該回送鹽ノ回送先、等級、包裝種類、數量及積載船名並積替地港灣到達見込月日其ノ他積替監督上必要又ハ參考トナルヘキ事項ヲ積替地所轄專賣官署ニ通知シ監督

ヲ囑託スルコト

二 積替地所轄專賣官署ハ前項ノ通知ヲ受ケ現品到達シタルトキハ實地ニ就キ荷揚及積込ノ監督ヲ爲スコト

回送鹽荷揚後即日貨車ニ積込ムコト能ハス一時上屋又ハ倉庫等ニ保管セシメタルトキハ其ノ區分事蹟ヲ調査シ置クコト

三 積替地所轄專賣官署ハ一案内書分全部ノ發送ヲ了シタルトキハ當該回送鹽ノ到達月日、荷揚及貨車積込月日、荷揚後一時上屋

又ハ倉庫等ニ保管セシメタルモノアルトキハ其ノ區分毎ノ數量及期日並當該鹽ニ被害其ノ他ノ事故アリタルトキハ其ノ顛末ヲ

無遲滯發送元官署ニ送知スルコト

但シ荷揚後一時上屋又ハ倉庫ニ保管セシメタルモノト雖積替費ニ異動ヲ生セサルモノハ保管方法毎ノ區分ヲ要セス

四 積替地所轄專賣官署カ運送請負人ノ請求ニヨリ交付スヘキ證明書ハ前項ノ通知書ヲ以テ之ニ代フルコト

五 發送元官署ニ於テハ積替費ハ前項ノ通知書ニ依リ調査スルコト

六 積替地所轄專賣官署ハ貨車不廻其ノ他ノ事故ニヨリ仲繼鹽中發送遲延スルモノアルトキハ時々發送狀況ヲ發送元及回送先專

賣官署ニ通報スルコト

回送鹽ハ發送官署ニ於テ正味量ヲ表記スルコトトナレルモ散鹽貯藏ニ充當スル回送鹽ニハ表記ヲ爲サス無記號ノ儘發送スルコトト爲セリ

甲第一六〇八號部長通牒(大正十一年五月六日)

鹽ノ正味量表記ニ關シテハ大正十年八月二十五日甲第三一八一號ノ二通牒ノ次第モ有之候處回送先ニ於テ散鹽貯藏ニ充當セララルヘキ鹽ニ付テハ之カ表記ヲ爲サス無記號ノ儘ニテ發送ノコトニ御取扱相成度

回送鹽亡失減耗損傷引渡及引取遲延處分事蹟報告ニ關シ左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第一八五〇號部長通牒(大正十一年五月二十三日)

鹽回送規程第十八條ニ依リ提出セラルヘキ回送鹽亡失減耗損傷、引渡及引取遲延處分事蹟報告書中徴收及免除ノ二欄ニハ責任決定後其ノ處分ノ結果ヲ發表シタルモノヲ又調査濟處分未濟欄ニハ責任決定濟ナルモ未タ其ノ處分ノ結果ヲ發表セサルモノ及規程第十五條第四項ニ依リ本局(經同中)ノモノヲ掲記スヘキ趣旨ニシテ損害金納付ノ濟否ハ右ノ區分ニ對シ何等關係ナキ義ニ付御了知相成度

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

大正十一年六月以降鐵道託送回送鹽ノ運賃ハ託送日毎ニ運賃額ヲ決定シ之ヲ一箇月毎ニ取纏メ支拂フコトトシ運賃  
調査支拂方ニ付左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第一五九八號部長通牒(大正十一年五月六日)

今回鐵道ニ託送スル回送鹽ノ汽車運賃ハ來ル六月一日ヨリ別紙様式ニ據リ託送日毎ニ運賃額ヲ決定シ之ヲ一箇月毎ニ取纏メ支拂  
ヲ爲スコトニ鐵道省ト協定候ニ付汽車積回送鹽ノ取扱方ニ關シ別記ノ通運送請負人ニ指示候間御了知相成度尙運賃ノ調査及支拂  
方ニ付テハ左記事項御注意相成度

- 一 第一號様式後納荷物運賃調書ハ回送鹽發送ノ都度即日發驛代理人ヨリ直接託送鹽發送元所轄地方專賣局ニ提出セシム
- 二 第二號様式汽車積回送鹽運賃仕譯表ハ回送鹽發送ノ都度即日發驛代理人ヨリ直接託送鹽發送元官署ニ提出スルヲ以テ發送元  
官署ハ之ヲ豫算執行決議簿其ノ他ノ帖簿ト對照シテ其ノ正否ヲ確メ出張所又ハ派出所ニ在リテハ之ヲ所轄地方專賣局ニ轉送ス  
ルコト
- 三 地方專賣局ニ在リテハ支署ヨリ送付シ來リタル前項ノ仕譯表ノ運賃ヲ集計シテ先著ノ後納荷物運賃調書ト照合スルコト
- 四 汽車積回送鹽運賃仕譯表又ハ後納荷物運賃調書ノ運賃額ニ違算アルコトヲ發見シタルトキハ即時發驛代理人ヲシテ訂正ヲ求  
メシムルコト
- 五 鐵道省請求金額不突合ノトキハ先ツ以テ運送請負人ヨリ貨物通知書ヲ提供セシメ荷物運賃訂正要求書又ハ荷物運賃訂正通知  
書ト對照シテ差違ヲ生シタル根據ヲ確メタル上鐵道省ニ照會スルコト
- 六 他ノ地方專賣局分ヲ積合セ發送シタルモノアルトキハ直ニ關係官署ト照覆シテ其ノ事實ヲ確メ運賃ハ後納荷物運賃調書ニ記  
載セル地方局ニ於テ支拂ヲナシ其ノ旨ヲ關係地方局ニ通知スルコト

(甲)

〇 一寸 〇

後納荷物運賃調書 第 號

摘要	金額	記	事
本日託送分	円		
月日分訂正不足			
月日分訂正過剩			
差引計			
大正 年 月 日		驛ニ於テ託送分上記ノ通 託送者、	會社 驛代理人

切取線

- 1 甲片ハ控トシ乙片ハ運賃支拂ヲナス地方專賣局ニ送付シ丙片ハ發驛ニ提出スヘシ
- 2 本日託送ノ欄ニハ驛ヨリ交付ヲ受ケタル當日分ノ貨物通知書ニ據リ其ノ合計金額ヲ記入シ甲及乙片ノ記事欄ニ發送元官署名ヲ列記スヘシ
- 3 本日託送分ニ他ノ地方專賣局管内分ヲ積合せ發送シタルモノアルトキハ甲及乙片ノ記事欄ニ其ノ鹽ノ發送官署名、回送案内書番號、噸數及運賃ヲ記載スヘシ
- 4 訂正欄ニハ驛ヨリ訂正ノ通知ヲ受ケタル書面ニヨリ不足又ハ過剩毎ニ最初ノ託送月日並差金額ヲ記入シ甲及乙片ノ記事欄ニ貨物運送通知書番號發送元及回送先官署名ヲ記載シ荷物運賃訂正要求書又ハ荷物運賃訂正通知書ハ乙片ニ添付スヘシ
- 5 番號ハ一箇月毎ニ更新スヘシ

考

鹽書算 鹽ノ付録ノ回送 回送

第一號樣式

②

後納荷物運賃調書 第 號

、、地方專賣局支拂分

摘要	金額	記	事
本日 託送分	円		
月 日分訂正不足			
月 日分訂正過剩			
差引計			

驛ニ於テ託送分上記ノ通

大正 年 月 日 託送者、、、、會社 何驛代理人 何 某<sup>㊤</sup>

、、、、地方專賣局御中

第一號様式

(丙)

後納荷物運賃調書 第 號

、、地方專賣局支拂分

納	要	金	額	記	事
本日	託送分		円		
月	日分訂正不足				
月	日分訂正過剩				
差	引計				

驛ニ於テ託送分上記ノ通

大正 年 月 日 特約者 專賣局  
鐵道省御中

鹽專賣 鹽ノ貯藏ノ回送 回送

汽車積回送鹽運賃仕譯表  
大正 年 月 日發送分

發送元署官	回送先署	回送案內番	著驛名	運送狀番	貨物通知番	等級	包裝種類	箇數	斤數	運賃計數	運賃	貨摘	要
合計													

- 備考
- 1 甲片ハ控トシ乙片ハ當該回送鹽發送元官署ニ送附スヘシ
  - 2 著驛以下各欄ハ運送狀及貨物通知書ニ據リ記入スヘシ
  - 3 他所發送分ヲ積合セタルトキハ發送元別ニ記入シ被積合鹽ノ局所分ハ運賃欄ヲ除キ其ノ他ノ欄ヲ朱記スヘシ
  - 4 被積合セ鹽カ他ノ地方專賣局管内分ナルトキハ摘要欄ニ「運賃ハ何局支拂」ト記載スヘシ



②

汽車積回送鹽運賃仕譯表

大正 年 月 日發送分

驛 第 號				發送狀 番	貨物通知 番	等級	包裝 種類	箇	斤	數	運賃請 算噸數	運	貨	摘	要	
發送元 官	發送本 官	回送案 番	回送番 號	者驛名												
合計																

大正 年 月 日 會社 驛代理人 何 某

何地方專賣局(何出張所、派出所)御中

運送請負人ニ對シ左ノ指示ヲ爲セリ

汽車積回送鹽取扱注意事項

- 一 汽車運賃ハ回送鹽發送ノ都度即日運賃支拂官署別ニ區分シテ別紙第一號様式後納荷物運賃調書ニ記載シ發驛代理人ヲシテ直接發驛及回送鹽發送元所轄地方專賣局ニ提出セシムルコト
  - 二 第二號様式汽車積回送鹽運賃仕譯表ハ發送元別ニ整理シテ發驛代理人ヲシテ直接發送元官署ニ提出セシムルコト
- 鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

三 汽車積回送鹽運賃仕譯表ノ運賃ハ貨物通知書記載ノ運賃額ニ違算アルコトヲ發見シタル場合ト雖通知書面ノ金額ヲ記載スルコト

四 後納荷物運賃調書中本日託送分欄ノ金額ハ汽車積回送鹽運賃仕譯表ノ合計ヲ集計シテ記載スルコト

五 後納荷物運賃調書中訂正欄ノ過不足金額ハ荷物運賃訂正要求書又ハ荷物運賃訂正通知書ニヨリ記載スルコト

六 鐵道幹線ニ使用スル貨車ハ漸次大型トナリテ小型ノモノ不足シ自然少數積殘鹽ノ發送運延スルヲ以テ他所發送分ノ積合せヲ爲シ得ルコト但シ成ルヘク混載ヲ避クヘキハ勿論ニシテ積合せヲ爲スハ一回送案内書分ノ最終發送ニ於テ配給貨車ノ噸數關係

ニヨリ積殘リヲ生シタル場合ニ限ル

七 前項積合せ鹽ノ運賃ハ國有鐵道貨物運賃料金規則鐵道貨物運賃表貨切扱五級品ノ賃率ヨリ一割五分ヲ控除シタルモノニヨリ各別ニ記載スルコト、但シ一貨車分ノ運賃ハ貨物通知書ノ金額ト符合セシムルコトヲ要ス

八 回送鹽發送後誤送シタルコトヲ發見シタルトキハ速ニ發送元官署ニ通報シテ指揮ヲ受クルコト

九 汽車積回送鹽運賃仕譯表提出後運賃欄以外ニ誤記等ヲ發見シタルトキハ直ニ正誤表ヲ作成シテ引替ヲ求ムルコト

十 回送鹽發送ノ事蹟ハ其ノ都度報告スルコトトナリタルヲ以テ從來毎月提出シ來タル回送鹽發送仕譯表其ノ他之ニ類スル調書ノ提出ヲ要セサルコト

十一 後納荷物運賃調書及汽車積回送鹽運賃仕譯表ハ炭酸紙ニヨリ複寫スルコト

回送鹽引渡手續中左ノ改正ヲ加ヘ引渡場所中岐阜市ヲ削除シ尚地方專賣局長ハ承認ヲ經テ臨時鹽引渡場所ヲ設置シ得ルコトトシ鹽買受ノ便ヲ計レリ

甲第三五四六號長官達(大正十一年九月三十日)

鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡手續中左ノ通改正ス

記

第一條中左記ヲ左ノ通改メ左ノ一項ヲ加フ

鹽 販 賣 官 署 名	引 渡 場 所
東京地方專賣局横濱出張所	神奈川縣三浦郡浦賀町

仙臺地方專賣局  
 仙臺地方專賣局青森出張所  
 高崎地方專賣局松本出張所  
 名古屋地方專賣局  
 大阪地方專賣局  
 岡山地方專賣局米子出張所  
 岡山地方專賣局米子出張所  
 三田尻地方專賣局  
 德島地方專賣局高知出張所  
 德島地方專賣局高知出張所  
 德島地方專賣局高知出張所  
 鹿兒島地方專賣局  
 鹿兒島地方專賣局

岩手縣下閉伊郡宮古町  
 青森縣三戸郡八戸町  
 長野縣上伊那郡伊那富村辰野  
 岐阜縣吉成郡船津町  
 大阪府堺市  
 鳥取縣西伯郡境町  
 島根縣那賀郡濱田町  
 山口縣阿武郡萩町  
 高知縣幡多郡下田村  
 高知縣高岡郡須崎町  
 高知縣安藝町  
 鹿兒島縣川邊郡東南方村  
 鹿兒島縣日置郡西市來村湊町

前項以外ノ場所ニ於テ地方專賣局長ハ專賣局長官ノ承認ヲ經テ臨時鹽引渡場所ヲ設置スルコトヲ得  
 第二條中四十萬斤以上ノ下括弧内ヲ左ノ如ク改メ「及須崎」ヲ削ル  
 (境ニ於テハ三十萬斤以上宮古ニ於テハ仙臺又ハ鹽釜送ト積合ノ場合ニ限リ五萬斤以上)

第三條中「第二項」ヲ「第三項」ニ附近ニ「ノ下」金庫」ヲ「日本銀行支店若ハ代理店」ニ「當該金庫」ヲ「當該支店若ハ代理店」ニ改ム  
 甲第三五四六號ノ二部長通牒(大正十一年九月三十日)

本月三十日甲第三五四六號ヲ以テ右改正ノ件達セラレ候處從來鹽販賣官署ニ於テ貯藏倉庫不足シ所在地又ハ附近ニ之ヲ得ル能ハサル場合回送鹽收容上已ムヲ得ス所在地外遠隔ノ地ニ臨時鹽ノ貯藏引渡ヲ爲シ以テ倉庫ノ緩和ヲ圖リタル事例アリシモ右ハ別段規程上ノ根據アルモノニ非スシテ便宜解釋トシテ所在地倉庫ノ延長ト看做シ取扱ハレタルモノナルヘク斯ノ如キ取扱ハ甚好マシカラサルコトニ候處近時準備貯藏鹽増額シタルニ拘ラス貯鹽倉庫ハ尙常ニ不足ニシテ殊ニ最近ノ如キ内地收納鹽異常饒多ノ際ニハ地方ニ依リテハ遠隔地貯藏引渡ノ方法ヲ採ルノ外途ナキ場合モ可有之旁々從來ノ如キ變則ノ取扱ハ之ヲ避クルヲ適當ト相認メ仍テ今般手續中ニ臨時引渡場所ノ設置ヲ認メラルルコトト相成候次第ニ有之然ルニ濫設スルコトアリテハ現行鹽販賣機關配置ノ

鹽專賣 鹽ノ貯藏・回送 回送

權衡ヲ失スルコトトナル次第ニ付成ルヘク之ヲ設置セサル方針ナルモ上述ノ通販賣官署所在地及其ノ附近ニ貯藏倉庫ヲ求メ難ク已ムヲ得ス遠隔ノ地ニ之ヲ設置ヲ必要トシ且適當ノ場所ナル場合ニ限り詮議相成ルヘキ趣旨ニ候條其ノ必要ヲ認メラレ候ハハ回送保管其ノ他諸經費ヲ低廉ナラシムル方法ヲ立テ事由ヲ具シ期間ヲ定メ稟請相成様致度

現在高報告中左ノ追加ヲ爲セリ

甲第三八四五號長官達(大正十一年十月二十八日)

大正十年十月四日達甲第三八三六號現在高報告様式備考一〇ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

一一 精製食卓鹽ノ數量ハ箱單位トシ現在高ヲ函詰區分ニヨリ備考欄ニ記載スルモノトス

近時小型船減少ノ爲其ノ船繰困難トナリ中型船ヲ使用スルニ至リシ爲船積ニ當リ船腹ニ過剩ヲ見ルコト多ク自然船繰難トナリ回送上支障ヲ醸ス事情ヲ來シタルヨリ發送元官署ヲシテ機宜ニ増積ヲ容認スルコトトシ左ノ通牒ヲ爲セリ

甲第四三一九號部長通牒(大正十一年十二月十八日)

船積回送鹽ノ運送ハ運送請負人ヲシテ可成荷傷ミ少キ小型ニシテ且回送命令ニ適合スル船舶ニ依ラシメラルヘキハ勿論ノ義ニ有之候處近時小型船ノ船繰リ困難トナリ中型船ヲ使用スルニ至リ候ニ付テハ已ムヲ得サル事情ニ因リ回送命令數量以上ノ積載力ヲ有スル船舶ヲ回航シタル場合又ハ船腹ノ見込違ヒ等ニ依リ運送請負人ヨリ増積ヲ申請シタルトキハ左記標準ヲ限度トシテ貴局限り承認相成度

一 汽船積ハ當該汽船普通積載力ノ一割以内

二 帆船積ハ回送命令四十萬斤未滿ノトキ其ノ命令高ノ二割以内

但シ長崎、島原、阿久根、湊町、東南方、福島、宮崎、細島、大分、高知、安藝、須崎、下田送ニ限ル

甲第四三一九號ノ二部長通牒(大正十一年十二月十八日)

本日別途甲第四三一九號ヲ以テ船積回送鹽ノ増積ニ關シ及通牒候處右ハ小型船潤澤ニシテ回送命令鹽ヲ數回ニ分割運送ヲ爲シタル當時ニ在リテハ彼は按配シテ命令ノ實行容易ナリシカ近年ニ至リ海難其ノ他ノ事故ニヨリ小型船ノ亡失廢船トナリタルモノ多キニ造船ハ船經濟上有利ナル大型船ニ傾キ小型船ノ新造少キ爲小型船ノ繰繰困難トナリ主トシテ中型船ヲ使用スルニ至リ候配船ノ大部分ハ毎月初メ回送計畫ニ基キ航海中ノモノヲ契約配船スルヲ以テテ候其ノ他ノ關係上回船豫定ニ多少ノ遲速ヲ生スルコト

アルヲ免レス又時トシテ回船日取ト發送元生産ノ關係上當初ノ配船計畫ノ變更ヲ要スルコトアル等種々ノ事情ニ依リ往々回送命令高ニ適應セサル船舶ヲ回航スルコトアルハ今日ノ船舶界ノ實情上蓋シ已ムヲ得サルモノト被認候然シテ一般傭船契約上空積運賃ハ傭船者ノ負擔スヘキモノナルヲ以テ回送鹽積込ニ際シ船腹ニ過剩ヲ生シタル場合増積ヲ許サランカ過剩船腹ニ對スル運賃ニ運送請負人ノ負擔トナリ船線上ニ困難ヲ訴フルノミナラス延テ回送上ニ支障ヲ及ホシ不利益ヲ招來スル虞レアルヲ以テ現今ノ實情ニ應スル様増積ヲ認ムルコトト相成候處是カ實行ニ際シテハ篤ト其ノ實況ヲ調査シテ許否ヲ決定スルト共ニ常時運送請負人ノ船積ニ注意監督ヲ加ヘ亂用ニ流レサル様致度尙増積鹽拂出ニ付テハ左記事項御注意相成度

一 増積ヲ承認スルハ他ノ回送ニ支障ナキ場合ニ限ルコト

二 豫メ回送先ト協議スルコト

三 増積鹽ノ品種ハ回送命令ト同一品種タルコト若他ノ品種ヲ充當スル必要アル場合ハ回送先ト協議スルコト

四 増積ヲ爲シタルトキハ回送案内書餘白ニ増積シタル鹽ノ等級、包裝及數量竝増積事由ヲ附記スルコト

五 増積ヲ爲シタルトキハ即時鹽回送規程第六條第三項ニ準シ本局ニ報告スルコト

六 標準限度以上ニ大ノ増積ヲ承認スル必要生シタル場合ハ本局ニ稟議スルコト

支那局長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正十二年六月)

八 鹽運賃調査ニ關スル件

回送鹽ノ運賃海運運賃並發着間接費ハ海運界ノ狀勢勞銀ノ高低等ニ依リ異動スルヲ常態トスルヲ以テ各發送元及回送先官署共平常其ノ支拂實費額ノ調査ヲ爲シ置キ契約更新期ニ於ケル運賃調査ノ資料ニ供スヘキ必要アルニ拘ラス往々平素ノ調査周到ナラサル爲契約更新期ニ於ケル調査不完全ニ陥ル傾キアリ鹽ノ回送費ハ事業費豫算中比較的巨額ヲ占ムル費目ニ屬シ其ノ適否ハ忽チ事業成績ノ上ニ多大ノ影響ヲ來スコト勿論ナルニ付關係官署ハ常ニ周到ナル實費調査ヲ遂ケ更新期ニ於ケル運賃調査ノ適切ヲ期スル様努ムルコトヲ要ス尙鹽運送請負人ノ業務監督方ニ付テモ從來各所ノ取扱寬嚴區々ニ涉レルカ如シ固ヨリ苛察ニ失スヘカラスト雖相當ナル監督ハ事業上極メテ必要ナルコト言フ俟タサルコトコナルヲ以テ常ニ適當ナル監督ヲ行ヒ以テ誠實ニ請負事業ヲ遂行セシメラルヘシ

九 回送鹽運著ニ關スル件

近時汽車回送鹽ノ輸送兎角圓滑ヲ缺キ現品ノ到達甚シク遲延ニ涉ルモノ多シ右ハ主トシテ貨車ノ配給順調ナラサルニ基因スルモ回送鹽ノ運著ハ回送先官署ノ販賣並倉庫計畫ニ齟齬ヲ來スノミナラス發驛ニ停滯久シキ結果ハ自然荷傷ミ又ハ荷不足ヲ多カラシメ不利ノ點尠カラサルニ付發送元又ハ仲繼地官署ノ運送請負人ヲ督勵シテ遲滯ナク配車請求ノ手續ヲ爲サシムルト共ニ一

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 回送

面直接鐵道當局ニ向テ迅速ナル配車ノ交渉ヲ爲シ極力停滯鹽ノ減少ニ努メラルル様注意セラルヘシ  
門司送回送鹽ハ大里倉庫揚ト彦島倉庫揚ト豫メ收容倉庫ヲ指定シ送回送スルコトトナセリ

## 第二款 送回狀況

政府ニ於テ鹽ノ送回販賣ヲ開始スルヤ當時其ノ實狀ヲ案シ在來之ニ從事シタリシ者ヲ擧ケテ之方送回ニ當ラシム各  
主產地ニ於テハ縣外搬出販賣ヲ業トセル鹽販賣業者及鹽ノ送回ニ經驗アル回漕業者ヲ網羅セル會社ヲ組織セシムルコ  
トトシ赤穂、坂出、撫養、尾道、三田尻、味野ニ於テ相次テ送回會社ノ創立トナリ以來主產地ニ於ケル内地鹽ノ送回ハ  
上記六會社ヲシテ請負ヒ從事セシメタリ後歐洲戰亂ニ及ヒ海運界ノ盛況ハ運賃暴騰シ微力ナル小會社ニテハ圓滿ナル  
送回ヲ全フスルコト困難ナルニ至リ大正八年六會社ヲ合同シ日本食鹽送回株式會社ヲ設立シ其ノ業ヲ繼承シ每年次契  
約ヲ更新シ今日ニ及ヘリ

輸移入鹽ニ在リテハ大正六年政府ニ於テ送回販賣スルニ至リ各輸移入取扱人ヲシテ之方送回ニ當ラシムル外十州地  
方ヨリ發送スル場合ニ在リテハ日本食鹽送回株式會社ヲシテ之ニ當ラシメ同八、九年ニハ内地鹽ノ補充又ハ鹹水混和  
再製原料トシテ盛ニ各地ニ送回スルニ至レリ

鹽ヲ送回スルニ汽車輸送アリ船舶輸送アリ中國ノ產鹽ハ汽車直送ノ便アルモ四國ノ產鹽ニ在リテハ總テ船便ナラサ  
ルハナシ其ノ汽車便ニ依ルモノト雖積込驛ヘノ積廻ハシハ船便ニ待タサルヲ得ス汽車ニ在リテハ鐵道官署ニ對シ直接  
貨車ノ配給ヲ交渉スト雖一般貨物トノ關係アリテ配車ニ不足ヲ見ルコト稀ナリトセス船舶ニ在リテハ天候ノ爲回航ノ  
遅延、荷役ノ故障等ヲ免カレス遠ク東海又ハ北海ヘノ送回ニハ汽船ニ依リ多量送回ヲ常トシ海運界ノ狀況ニ因リテ所要  
ノ船腹ヲ得ルニ困難少カラス而シテ一面ニハ產地ニ於テ生産ニ見込違ヲ來シ品種包裝等要求ニ對應シ得サルコトアリ